

SOUND DEVICES



Kashmir™
MICROPHONE PREAMPS

MixPre II Series

Multichannel Recorders | Mixers | USB Audio Interfaces

User Guide v9.00

目次

目次	2	File Split	39
Welcome to the MixPre II	3	Timecode	40
Customize With Plugins	4	Timecode Modes	41
Panel Views	5	Presets	42
Powering the MixPre II	11	Projects	42
Power Switchover and Priority	12	File List – Basic Mode	43
Touchscreen	13	File List – Advanced Mode	44
Transport Controls	15	Cue Marks	45
Navigating Menus	16	Using Star Shortcuts (*/**)	46
Front Panel Locks	17	Wingman Application	47
Choosing Your Mode	18	USB Hub	50
Custom Mode	21	USB Keyboard	51
Channel Screen – Basic Mode	22	X-Keys Programmable Keypads	52
Channel Screen - Advanced Mode	23	USB Controllers	52
Linking Channels	24	Akai MidiMix	54
Inputs Menu	25	Korg NanoKontrol 2	55
Metering	27	Korg NanoKontrol Studio	56
Limiters	28	Novation LaunchControl XL	57
Outputs	28	Mouting to a Camera or Tripod	58
Headphone Out	31	MixPre-3 Ii Specifications	59
Tone	32	MixPre-6 Ii Specifications	61
Slate Mic (MixPre-10 only)	32	MixPre-10 Ii Specifications	63
USB Audio Interface	33	Warranty	65
USB Output Routing	34	Software License	66
System	35	Limited Warranty	67
Formatting Media	37	Legal Notices	67
Record – Basic Mode	38		
Record – Advanced Mode	38		

Welcome to the MixPre II

Versatile. Durable. High-Performance.

If you record field audio, sound effects, audio for film, podcasts, voice-overs, music, or are just starting your audio journey, the MixPre II Series is for you! Lightweight, durable, and small, this powerhouse audio recorder and USB interface will help you capture audio for any application. Three models are available: MixPre-3 II* (3 channels, 5 tracks); MixPre-6 II (6 channels, 8 tracks); MixPre-10 II (10 channels, 12 tracks). *The MixPre-3 II can be expanded to 5 channels, 7 tracks with the optional +2ch plugin.

With Sound Devices' hand-crafted, crystal-clear, ultra low-noise Kashmir preamps, you'll record audio in superior quality - all the way up to a 32-bit float bit depth and a 192 kHz sample rate. This newest generation of Sound Devices' award-winning MixPre Series has been redesigned for increased performance and an astounding 142 dB of dynamic range. The MixPre II is highly customizable to your needs. Record internally to a compatible SD card on set or stream your podcast over USB to your computer at home. Power with your computer, wall power, or record in the middle of nowhere with AA or Sony L-mount batteries. Adjust limiters, bit depth, sample rates, gain, pan, low-cut, phase inversion and phantom power to your liking. Use the MixPre's high-precision internal timecode generator to trigger the camera, or feed timecode in. The choice is yours!

Professionals love the flexibility of the MixPre Series. Don't need all those options? Basic mode has you covered.

All models are rugged, lightweight, and small, so you can throw it in a bag or mount it to a tripod or camera - or get situated on set with our Wingman App and one of our four supported USB control surfaces. With the superior sound and build quality that you can expect from the industry leader in production audio recording, your MixPre II can capture audio for any application. Our friendly and knowledgeable support team, based in the USA and the UK, is here for all your questions and comments. Our job is to make your job easier.

We are honored to be part of your kit.

Sincerely,
Sound Devices

Customize With Plugins

すべてのプラグインは、Sound Devices Store から購入およびダウンロードできます。

Musician Plugin

MixPre をスタンドアロンのレコーダーまたは USB インターフェイスとして使用して、曲を簡単に作成できます。 オーバーダブ、バウンス、リバーブ、メトロノームへのトラッキングなどのオンボード機能を使用します。

Ambisonics Plugin

このプラグイン、アンビソニック マイク、MixPre-6 II または MixPre-10 II を使用して、360° オーディオを録音し、バイノーラルでモニタリングします。

MixAssist Plugin

MixPre で複数のマイクを使用していますか？ MixAssist を有効にすると、録音中に不要なマイクと部屋のノイズが軽減されます。

NoiseAssist Plugin (One or two instance versions available)

MixPre II シリーズ用の NoiseAssist プラグインを使用すると、現場で瞬時に背景ノイズを抑制できます。 1 インスタンスまたは 2 インスタンスの NoiseAssist プラグインを購入できます。 インスタンスは、任意のチャンネル、バス L、またはバス R で実行できます。

Reporter Plugin

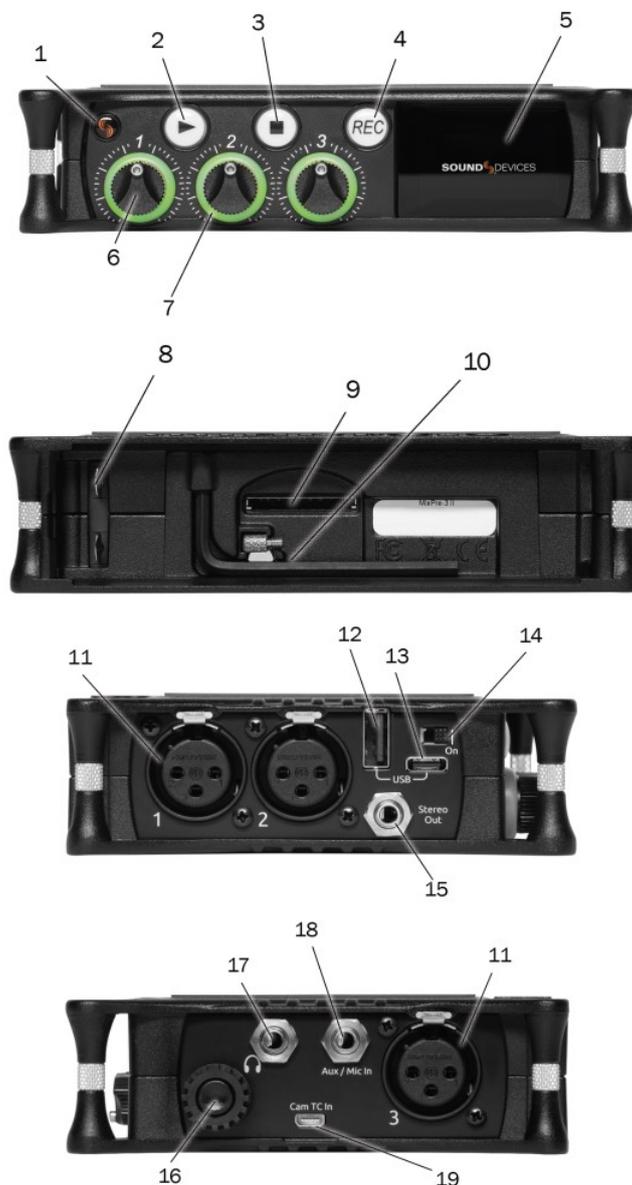
MixPre の設定を簡素化して、投稿者が優れたコンテンツのキャプチャに集中できるようにします。 Reporter プラグインを使用すると、MixPre-3 II または MixPre-6 II を事前に設定してメニューをロックできます。 ジャーナリスト、インタビュー対象者、その他の寄稿者に内密に送信してください。

+2ch Plugin (MixPre-3 only)

2チャンネル追加で合計 5チャンネル7トラックになります。 プラグインの特徴と機能については、それぞれのプラグイン ユーザー ガイドで詳しく説明されています。

Panel Views

MixPre-3 II



1: Power LED

MixPre II の電源がオンになると点灯します。

2: Play Button

押すと再生が始まります。再生中はボタンが緑色に光ります。

3: Stop Button

押すと録音または再生が停止します。停止中はボタンがオレンジ色に光ります。

4: Record Button

押すと録音が始まります。録音中はボタンが赤く光ります。アイドルコピー中はボタンが赤く点滅します。

5: Touch Screen

太陽光でも視認可能なタッチスクリーンで MixPre II ユーザーインターフェイスの操作が可能です。

6: Channel Knobs

チャンネルの入力ゲインを設定します。ノブを押してチャンネル画面にアクセスします。

7: Channel LED Ring

チャンネル信号状態、ソロ、ミュートを視覚的に表示します。

8: Battery Contacts

MixPre II 用に設計されたパワー スレッド アクセサリーを使用できます。付属の MX-4AA などの AA または Sony L マウント電池からの電力供給が可能です。

9: SD Card Slot

録音用の SD カードを挿入します。

10: Allen Wrench & Anti-Rotational Pin

MixPre II に磁石で取り付けられるので、安全に保管できます。MixPre II 上部パネルの 1/4 インチ 20 ネジ非脱落型ネジを使用して、MixPre II をカメラや三脚に取り付けるために使用します。

11: Inputs 1-3 Female XLR Jacks

アクティブバランス型アナログマイクまたはラインレベル入力。左側のパネルに入力 1 ~ 2、右側に入力 3。
[ピン 1 = グランド、ピン 2 = ホット (+)、ピン 3 = コールド (-)]

12: USB-A Port

1. USB キーボード。
2. USB ドライブに自動コピーします。
3. 承認されたサードパーティのコントロール サーフェスへの USB。
4. 複数のデバイスをサポートする USB ハブ。

13: USB-C Port

1. ユニットに電力を供給します。
2. USB オーディオインターフェースとしてコンピューターに接続します。
3. SD カードからファイルを転送するためにコンピューターに接続します。

14: Power Switch

電源をオン/オフします。

15: Stereo Audio, Timecode, or Split Audio/Timecode Output

アンバランスステレオ 3.5 mm メスコネクタ。ルーティングは「出力」メニューで決定されます。[スリーブ = グランド、チップ = X1、リング = X2]。

16: Headphone Knob

1. 回してヘッドフォンの音量を制御します。
2. 回転して一部のメニューと仮想キーボードを操作します。を押して項目を選択します。
3. 再生中に を押すと、スクラブ モードに入ります。回転させて、異なる速度で前後にスクラブします。
4. Ch1 または Ch2 ノブを同時に押すと、追加チャンネル入力設定メニューに直接ジャンプします。

17: Headphone Output

3.5mm TRS ヘッドフォン出力。警告！ この出力はヘッドフォンに大音量を出力する能力があります。
[スリーブ=グランド、チップ=左、リング=右]

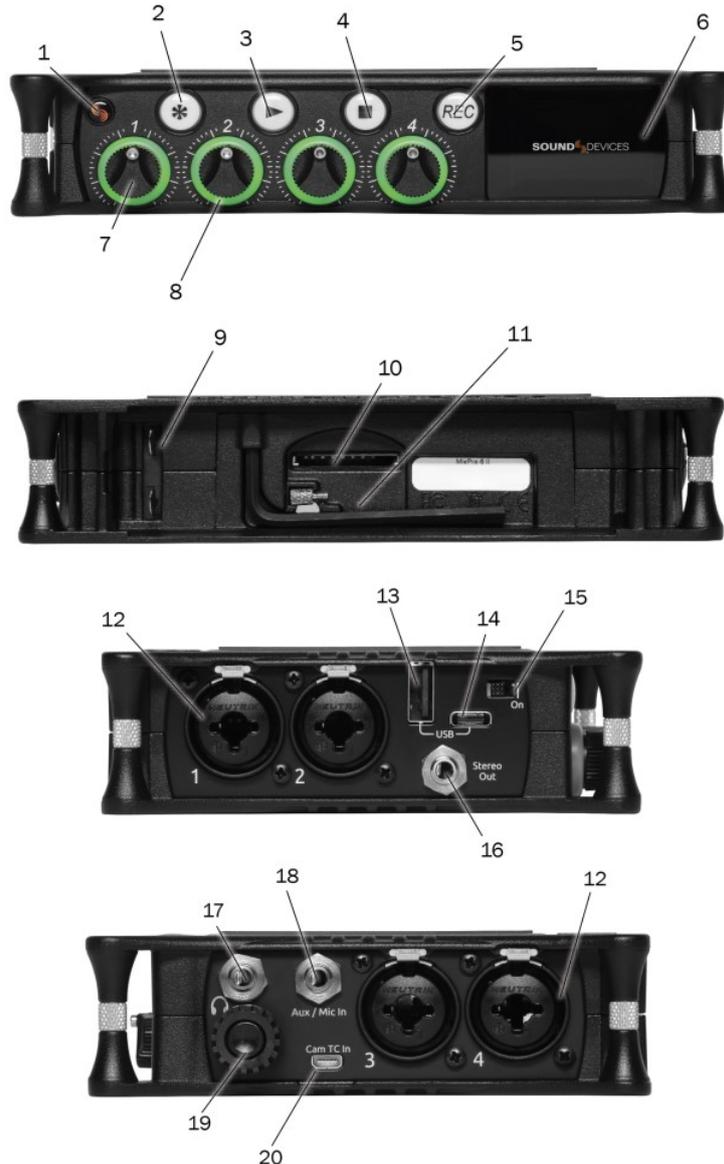
18: Aux/Mic/Timecode Input

メニュー選択可能な入力。アンバランス ステレオ オーディオ信号、プラグイン パワー マイク、または LTC タイムコードを受け入れます。

19: HDMI TC Input

選択したカメラに接続して HDMI タイムコードを受信し、開始/停止フラグを記録します。

MixPre-6 II



1: Power LED

MixPre II の電源がオンになると点灯します。

2: Star (* & **) Button

Provides a user-assignable hardware button to frequently used functions. See Shortcuts.

3: Play Button

押すと再生が始まります。再生中はボタンが緑色に光ります。

4: Stop Button

押すと録音または再生が停止します。停止中はボタンがオレンジ色に光ります。

5: Record Button

押すと録音が始まります。録音中はボタンが赤く光ります。アイドルコピー中はボタンが赤く点滅します。

6: Touch Screen

太陽光でも視認可能なタッチ スクリーンで MixPre II ユーザー インターフェイスの操作が可能です。

7: Channel Knobs

チャンネルの入力ゲインを設定します。ノブを押してチャンネル画面にアクセスします。右側のサイドパネルにあるヘッドフォンノブを同時に押すと、エクストラチャンネル画面に直接ジャンプします。

8: Channel LED ring

チャンネル信号状態、ソロ、ミュートを視覚的に表示します。

9: Battery contacts

MixPre II 用に設計されたパワー スレッド アクセサリーを使用できます。付属の MX-4AA などの AA または Sony L マウント電池からの電力供給が可能です。

10: SD Card Slot

録音用の SD カードを挿入します。

11: Allen Wrench & Anti-Rotational pin

MixPre II に磁石で取り付けられるので、安全に保管できます。MixPre II 上部パネルの 1/4 インチ 20 ネジ非脱落型ネジを使用して、MixPre II をカメラや三脚に取り付けるために使用します。

12: Inputs 1-4 female XLR / 1/4" TRS Combo jacks

アクティブバランス型アナログマイクまたはラインレベル入力。左側のパネルに入力 1 ~ 2、右側のパネルに入力 3 ~ 4。[ピン 1 = グランド、ピン 2 = ホット (+)、ピン 3 = コールド (-)]

13: USB-A Port

1. USB キーボード。
2. USB ドライブに自動コピーします。
3. 承認されたサードパーティのコントロール サーフェスへの USB。
4. 複数のデバイスをサポートする USB ハブ。

14: USB-C Port

1. ユニットに電力を供給します。
2. USB オーディオインターフェースとしてコンピューターに接続します。
3. SD カードからファイルを転送するためにコンピューターに接続します。

15: Power Switch

電源をオン/オフします。

16: Stereo Audio, Timecode, or Split Audio/Timecode Output

アンバランスステレオ 3.5 mm メスコネクタ。ルーティングは「出力」メニューで決定されます。[スリーブ = グランド、チップ = X1、リング = X2]。

17: Headphone Output

3.5mm TRS ヘッドフォン出力。警告！ この出力はヘッドフォンに大音量を出力する能力があります。[スリーブ = グランド、チップ = 左、リング = 右]

18: Aux/Mic/Timecode Input

メニュー選択可能な入力。アンバランス ステレオ オーディオ信号、プラグイン パワー マイク、または LTC タイムコードを受け入れます。

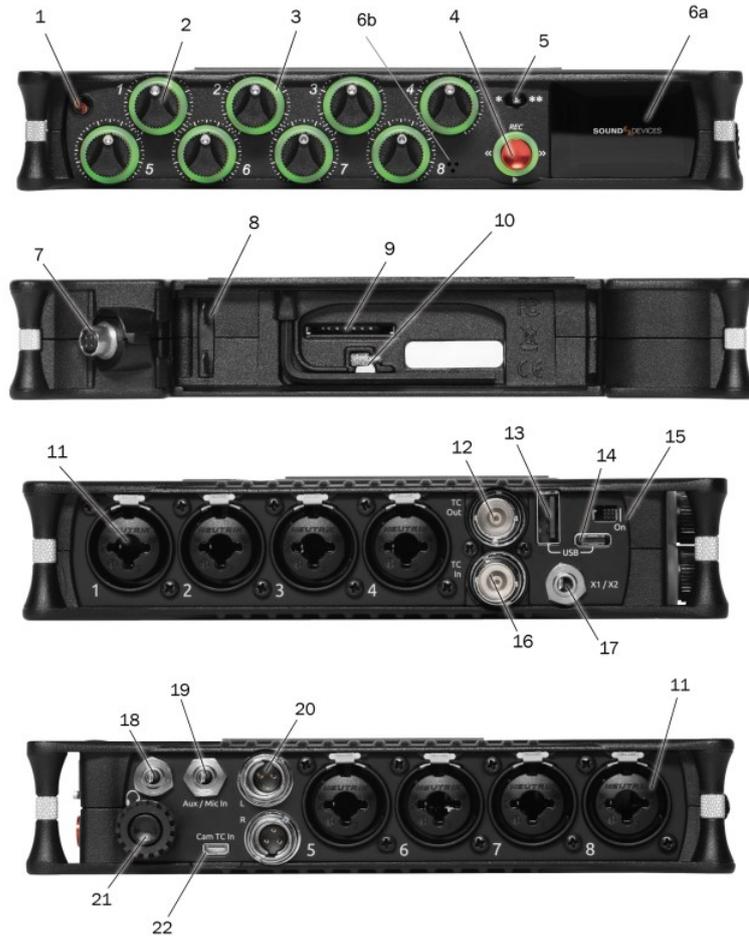
19: Headphone knob

1. 回してヘッドフォンの音量を制御します。
2. 回転して一部のメニューと仮想キーボードを操作します。を押して項目を選択します。
3. 再生中に を押すと、スクラブ モードに入ります。回転させて、異なる速度で前後にスクラブします。
4. Ch1 または Ch2 ノブを同時に押すと、追加チャンネル入力設定メニューに直接ジャンプします。

20: HDMI TC Input

選択したカメラに接続して HDMI タイムコードを受信し、開始/停止フラグを記録します。

MixPre-10 II



1: Power LED

MixPre II の電源がオンになると点灯します。

2: Channel Knobs

チャンネルの入力ゲインを設定します。ノブを押してチャンネル画面にアクセスします。右側のサイドパネルにあるヘッドホンノブを同時に押すと、エクストラチャンネル画面に直接ジャンプします。

3: Channel LED Ring

チャンネル信号状態、ソロ、ミュートを視覚的に表示します。

4: Transport Controls

フロントパネルのジョイスティック (LED リングが点灯) を使用して、さまざまなトランスポート制御機能を実行します。

5: Star (* & **) Switch

頻繁に使用する機能にユーザーが割り当て可能なハードウェア スイッチを提供します。

6a: Touch Screen

太陽光でも視認可能なタッチ スクリーンで MixPre II ユーザー インターフェイスの操作が可能です。

6b: Slate Mic

*/** スイッチを使用して有効化できる内蔵スレート マイク。

7: 4-Pin Hirose DC Input

電源として 10 ~ 17V の DC 電圧を受け入れます。[ピン 4=+、ピン 1=-] 付属の XL-WPH3 で動作します。

8: Battery Contacts

MixPre II 用に設計されたパワー スレッド アクセサリを使用できます。付属の MX-8AA などの AA または Sony L マウント電池からの電力供給が可能です。

9: SD Card Slot

録音用の SD カードを挿入します。

10: Allen Wrench & Anti-Rotational Pin

MixPre II に磁石で取り付けられるので、安全に保管できます。 MixPre II 上部パネルの 1/4 インチ 20 ネジ非脱落型ネジを使用して、MixPre II をカメラや三脚に取り付けるために使用します。

11: Inputs 1-8 Female XLR / 1/4" TRS Combo Jacks

アクティブバランス型アナログマイクまたはラインレベル入力。 左側のパネルに入力 1 ~ 4、右側に入力 5 ~ 8。 [ピン 1 = グランド、ピン 2 = ホット (+)、ピン 3 = コールド (-)]。

12: BNC Timecode or Word Clock Output

タイムコードまたはワードクロック機能をメニューで選択可能。 LTC タイムコードをカメラ、デジスレート、またはその他のタイムコード対応機器に送信するには、タイムコードに設定します。 MixPre-10 II を外部機器のマスター高精度クロックソースとして使用するには、ワードクロックに設定します。

13: USB-A Port

1. USB キーボード。
2. USB ドライブに自動コピーします。
3. 承認されたサードパーティのコントロール サーフェスへの USB。
4. 複数のデバイスをサポートする USB ハブ。

14: USB-C Port

USB オーディオ用にコンピューターに接続したり、SD カードからファイルを転送したりするために使用します。

15: Power Switch

電源をオン/オフします。

16: BNC Timecode or Word Clock Input

タイムコードまたはワードクロック機能をメニューで選択可能。 カメラまたはタイムコード ジェネレーターから LTC タイムコードを受信するには、タイムコードに設定します。 外部クロックソースと同期するにはワードクロックに設定します。

17: X1/X2 Output

アンバランスステレオ 3.5 mm メスコネクタ。 ルーティングは「出力」メニューで決定されます。 [スリーブ = グランド、チップ = X1、リング = X2]。

18: Headphone Output

3.5mm TRS ヘッドフォン出力。 警告！ この出力はヘッドフォンを潜在的に危険なレベルまで駆動する可能性があります。 【スリーブ=地、チップ=左、リング=右】

19: Aux/Mic/Timecode Input

メニュー選択可能な入力。 アンバランス ステレオ オーディオ信号、プラグイン パワー マイク、または LTC タイムコードを受け入れます。

20: Left & Right TA3 Outputs

+18 dBu ラインレベル出力。 ルーティングは「Output」メニューで決定されます。 [ピン 1 = グランド、ピン 2 = ホット (+)、ピン 3 = コールド (-)。 ピン 3 をフロートにしてアンバランスにする]

21: Headphone Knob

1. 回してヘッドフォンの音量を制御します。
2. 回転して一部のメニューと仮想キーボードを操作します。 を押して項目を選択します。
3. チャンネルノブ 1 と 2 を同時に押して、追加チャンネルのチャンネル画面にアクセスします。

22: HDMI TC Input

選択したカメラに接続して HDMI タイムコードを受信し、開始/停止フラグを記録します。

Powering the MixPre II

選択した電源を適用します。左側パネルの右上隅にあるマスター電源スイッチをオンの位置にします。タッチスクリーンに表示されるバッテリー/電源ステータスインジケータに正確なレベルとステータスが表示されるようにするには、[電源]メニューでバッテリー/電源の種類を選択します。

MixPre II の電源に単 3 電池を使用する場合は、Energizer Ultimate Lithium (アルカリ電池ではない) をお勧めします。アルカリ電池は内部抵抗が高いため、低電流 (25 mA 未満) を必要とするデバイスにのみ適しており、MixPre II などの高出力電子デバイスには適していません。

電池を誤って使用すると爆発の危険があります。同一または同等のタイプとのみ交換してください。バッテリーは適切にリサイクルしてください。バッテリーを押しつぶしたり、分解したり、焼却したり、火の中に捨てたり、高温にさらしたりしないでください。

使用しないチャンネルをオフにして電力を節約します。

複数の電源オプションを備えた MixPre II は、幅広いアプリケーションや環境で動作できます。

MixPre-3 II and MixPre-6 II Power Options

1. USB-C 電源への MX-PSU AC ウォール アダプタが付属。
2. 付属の MX-4AA バッテリー スレッドに単三電池 4 本を取り付けます。
3. 8 本の単三電池をオプションの MX-8AA バッテリー スレッド アクセサリーに取り付けます。
4. 1 つまたは 2 つの Sony タイプ L マウント バッテリーを、オプションの MX-LMount バッテリー スレッド アクセサリーに取り付けます。
5. USB-C to USB-C ケーブル (付属) を USB-C ホスト コンピューターまたは AC ウォール アダプターに接続します。
6. USB-A ホスト コンピューターまたは AC アダプターに接続された USB-A - USB-C ケーブル。ユニットは低電力状態になり、この電源オプションでは一部の機能が制限されます。
7. MX-USBY USB-A ホスト コンピューターに接続されたデュアル USB-A - USB-C オプションのアクセサリケーブル。このケーブル オプションを使用します
コンピューターが 1 つの USB-A ポートだけでは十分な電力を供給できない場合。

MixPre-10 II Power Options

1. 4 ピンのヒロセ製 XL-WPH3 AC ~ DC 12 V 電源が付属。
2. 付属の MX-8AA バッテリー スレッドに単三電池 8 本を取り付けます。
3. 1 つまたは 2 つの Sony タイプ L マウント バッテリーを、オプションの MX-LMount バッテリー スレッド アクセサリーに取り付けます。

Power Switchover and Priority

MixPre-3 II and MixPre-6 II

バッテリー電力を節約するため、両方が接続されている場合は、1つの例外を除いて USB-C 電源がバッテリーよりも優先されます。USB-C 電源が MixPre II の全電力要件を満たしていない場合は、バッテリーから電力を供給するか、続行するかを選択できます。USB-C から給電します。パワー不足の MixPre II では、3 つまたは 4 つのチャンネルのうち 2 つを 48 V ファントム マイクで使用できます。他のチャンネルはダイナミック マイクとライン レベル、Aux、または USB ソースで引き続き使用できます。低電力状態では、MixPre II は自動的に次のことを行います。

1. LCD と LED の明るさを暗くします。
2. USB-A ポートを無効にします。
3. HDMI TC ポートを無効にします。

偶発的な電源喪失から保護するために、MixPre II には USB-C からバッテリーに自動的に切り替える回路が組み込まれています。

MixPre-10 II

バッテリー電力を節約するため、両方が接続されている場合は、4 ピンのヒロセ電源がバッテリーよりも優先されます。偶発的な電源喪失から保護するために、MixPre-10 II には電源を自動的に切り替える回路が組み込まれています。

Touchscreen

MixPre II には、太陽光でも視認可能な高解像度のタッチ スクリーン ベースのユーザー インターフェイスがあり、ホーム スクリーン、メイン メニュー スクリーン、およびチャンネル スクリーン ビューで構成されます。タッチ スクリーンには、コントロール用のいくつかのタッチ ゾーンがあります。ユーザーインターフェイスに慣れると、入力、出力、録音、計測の設定変更が迅速かつ直感的に行えるようになります。

Home Screen

デバイスの電源がオンになると、タッチスクリーンにホーム画面ビューが表示されます。



1: File List Icon

タッチしてファイルリストに入ります。

2: Current File Name

現在のファイル名を表示します。

3: Cue Marker Icon

タッチすると、録音または再生中にキュー マーカーが配置されます。現在のキューマークポイントを表示します。

4: Power Status Icon

有効な電源のステータスを表示します。詳細については、反対側の表を参照してください。

MixPre-3 II and MixPre-6 II

Power Status Icon	Description
 (Green USB)	USB power source is ideal.
 (Orange USB)	USB power source low. Brightness dimmed, HDMI & USB-A ports disabled, 48 V phantom on 2 channels only.
 (Green Battery)	Healthy battery. Plan to change batteries when green level drops to about ¼ full. 48 V phantom on 2 channels only.
 (Flashing Red Battery)	Battery power is critically low. Change batteries.

MixPre-10 II

Power Status Icon	Description
 (Green Battery)	Healthy battery. Plan to change batteries when green level drops to about ¼ full.
 (Flashing Red Battery)	Battery power is critically low. Change batteries.

5: Menu Icon

タッチしてセットアップメニューに入ります。

6: Meter View

オーディオアクティビティを表示します。タッチすると、利用可能なメータービューが切り替わります。

1. 左右のトラックをミックスします。
2. 左右のトラックを独立したトラックとミックスします。
3. 左と右のミックストラック、USB 入力 1 と 2、および 2 カメラリターン (Aux 入力がカメラに設定されている場合)。

7: Status Bar

タッチして表示される情報を切り替えます。

1. SD カードのステータス: カード/ドライブのアクティビティ、録音可能な時間、ファイルの長さ、経過時間、ヘッドフォンのプリセット。
2. USB ドライブのステータス: ドライブの残りのスペース、サンプル レート、ビット深度。
3. 同期ソース (外部の場合)、サンプル レート、およびビット深度。
4. 日付と時刻。

自動コピー中は、すべてのステータスバーにコピーステータスが表示されます。コピーステータスはデフォルト情報と交互に表示されます。

8: Time Counter

現在のタイムコード値を表示します。タイムコードがオフの場合、録音ファイルのタイムカウンターを表示します。

Transport Controls

MixPre-3 II and MixPre-6 II

フロントパネルの 3 つのトランスポート コントロール (照光ボタン) は、録音および再生機能を実行するために使用されます。

Function	Control	Action
Record		Press to begin recording a new file. The button illuminates red while recording is underway. In Stop mode the record button flashes red while auto-copying to a USB thumb drive.
Stop		While recording, press once to stop recording. While in playback, press once to stop playback. While in standby, press and hold to display next name. While in Standby and auto-copying is in progress, press Stop to optionally suspend auto-copying.
Play/Pause		Press to begin playback of the last file recorded or file currently loaded. The button illuminates green during playback. While in playback, press once to pause, and press again to resume playback. Whenever playback is paused, the button and the current file name will flash green.
Scrub		While playing or paused, press and hold the headphone encoder to enter Scrub mode. Then rotate clockwise for fast forward or counter-clockwise for rewind at speeds of 0x, 1/8x, 1/4x, 1/2x, 1x, 2x, 4x, 8x and 16x. The audio is heard in Scrub mode up to 2x speed. Scrubbing at speeds < 1x are not available with 32-bit float.

MixPre-10 II

フロントパネルの ジョイスティックは、録音および再生機能を実行するために使用されます。

Function	Control	Action
Record		Push up the Transport control to begin recording a new file. The LED ring illuminates red while recording is underway.
Stop		Press in the Transport control to stop recording or playback. While in standby, press and hold to display next take name. The LED flashes red while auto-copying to a USB thumb drive. While in Standby and auto-copying is in progress, press Stop to bring up a dialogue box which gives the option to suspend auto-copying.
Play		Push down the Transport control to begin playback of the last file recorded or file currently loaded. While in playback, push down again to pause playback. The LED ring as well as the active file in the display will flash to indicate that Pause is active. Push down again to continue playback.
Rewind / Load previous take		While in standby, push left to load the previous take. While in playback, push and hold left to rewind. When the MixPre is playing back or paused, moving the joystick to the left (<<) rewinds at 2x speed, then after holding for 5 seconds, it increases to 16x speed.
Fast forward / Load next take		While in standby, push right to load the next take. While in playback, push and hold right to fast forward. When the MixPre is playing back or paused, moving the joystick to the right (>>) fast forwards at 2x speed, then after holding for 5 seconds, it increases to 16x speed.
Scrub		While playing or paused, press and hold the headphone encoder to enter Scrub mode. Then rotate clockwise for fast forward or counter-clockwise for rewind at speeds of 0x, 1/8x, 1/4x, 1/2x, 1x, 2x, 4x, 8x and 16x. The audio may be heard in Scrub mode up to 2x speed. Scrubbing at speeds < 1x are not available with 32-bit float.

Navigating Menus

ほとんどの機能はメニューで選択および設定されます。

Icon	Function
	Touch the Menu icon from the Home Screen to enter the Menu.
	Touch the Back icon to return to the main Menu from any submenu.
	Touch the Home icon to immediately return the Home Screen.
	Touch the Page (dots) icon to view the next page of options.
	Touch the Headphone icon to enter the Headphone menu.

Main Menu Screen

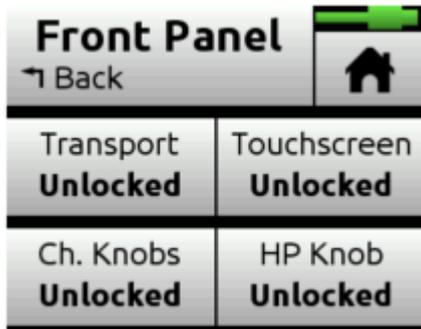
メニュー項目をタッチしてサブメニューに入ります。 利用可能なメニューはモデルとモードによって異なります。



Front Panel Locks

すべての MixPre ミキサー/レコーダーは、フロント パネルのコントロールをロックして、誤った調整を防ぐことができます。

チャンネルノブ 1、2、3 を同時に押して、フロントパネルメニューに入ります。



Transport

MixPre のトランスポート コントロールをロックまたはロック解除します。(ロック、ロック解除*)

MixPre-3 II

ヘッドフォンノブの再生、停止、録音、スクラブモード。(ロック、ロック解除*)

MixPre-6 II

ヘッドフォンノブの再生、停止、録音、スクラブモード、* ショートカット。(ロック、ロック解除*)

MixPre-10 II

すべてのジョイスティック コントロール (録音、停止、再生、巻き戻し、FF)、および */** 切り替え。(ロック、ロック解除*)

Touchscreen

すべてのモデルの LCD のすべてのタッチ操作をロックまたはロック解除します。(ロック、ロック解除*)

CH. Knobs

フロントパネルのゲインノブをロックまたはロック解除して、レベル調整を行ったり、すべてのモデルのチャンネル画面に入れないようにします。(オンオフ*)

HP Knob

ヘッドフォンノブの押し込みおよび回転機能をロックまたはロック解除します。(ロック、ロック解除*)

ロック中にパラメータを変更しようとする、ポップアップが表示されます。フロントパネルメニューに入り、そのパラメータを切り替えます

オプション Off を選択すると、そのパラメータの制御を取り戻すことができます。

Wingman アプリケーション、USB キーボード、または USB MIDI コントローラーからのコントロールはフロントの影響を受けません。

Panel Lock Mode.

MixPre を再起動すると、フロント パネルのすべての機能がロック解除されます。

Choosing Your Mode

MixPre II には、ユーザーやアプリケーションに合わせて、Basic、Advanced、および Custom の 3 つの異なる動作モードがあります。基本モードは、シンプルで手間のかからないプラグアンドプレイの使用と初心者を対象としています。詳細モードは、専門家や、利用可能なすべての設定とオプションを自由に使用したい人向けです。カスタムモードでは、基本操作と高度な操作を独自に組み合わせて選択できます。

MixPre-3 II および MixPre-6 II はデフォルトで Basic モードに設定されています。MixPre-10 II のデフォルトはアドバンスドモードです。モードを変更するには、メニュー>システム>モードに移動します。

MixPre-3 II Basic VS Advanced

Feature	Basic	Advanced	
Gain	Channel knob controls all gain for a channel.	Dual gain stage. Input gain is set in the Channel Screen. Channel knob controls post-fade levels to mix bus.	
Channel Screen Options	Pan (Left, Center, Right) Input Phantom Low Cut (On or Off)	Solo Mute Track Arm (Iso Tracks) Gain Pan (variable options) Input	Phantom Low Cut (variable options) Phase Delay NoiseAssist (requires plugin) Stereo and MS Linking (ch1-2 only)
Headphone Options	LR Stereo USB 1,2	LR Stereo LR Mono USB 1,2 Presets 1-4 Edit Presets	Camera Stereo Camera Mono HP Solo mode (Multiple or Individual)
Outputs	Fixed routing of LR mix	Stereo Output flexible routing Stereo Output gain Stereo Out Mode (LTC, Audio, or Split)	Stereo Out Mute L,R Delay USB Output 1-6
File List Options	Name Number Trash File Cue Move Cue Name Cue Delete	Undo Recording Name Number Notes Track Names	Trash File Cue Move Cue Name Cue Delete
Aux In Options	Mic Line Timecode Aux In 1 and 2 Off	Mic Line Timecode Aux In 1 and 2 Camera Return Off	
MixAssist	Not Available	Requires Plugin	
NoiseAssist	Not Available	Requires Plugin	
Record Options	Sample Rate fixed at 48 kHz Bit Depth fixed at 24 bit Records only the Left/Right mix Pre-roll Record Triggers Record Bells	Sample Rate Options 44.1 - 192 kHz Bit Depth options 16, 24, 32 (float) Record Isolated channels and mix tracks Individual control of Left and Right gain Individual control of Left and Right record arming Pre-roll Record Triggers Record Bells Remix & Rerecord NoiseAssist, Left and Right (requires plugin)	
Limiters	Always On	Limiters (Off, Factory, Custom) Custom Limiter options (Ratio, Threshold, Release)	

Feature	Basic	Advanced	
Gain	Channel knob controls all gain for a channel.	Dual gain stage. Input gain is set in the Channel Screen. Channel knob controls post-fade levels to mix bus.	
Channel Screen Options	Pan (Left, Center, Right) Input Phantom Low Cut (On or Off)	Solo Mute Track Arm (Iso Tracks) Gain Pan (variable options) Input	Phantom Low Cut (variable options) Phase Delay NoiseAssist (requires plugin) Stereo and MS Linking
Headphone Options	LR Stereo USB 1,2 USB 3,4	LR Stereo LR Mono USB 1,2 USB 3,4 Presets 1-4	Edit Presets Camera Stereo Camera Mono HP Solo mode (Multiple or Individual)
Outputs	Fixed routing of LR mix	Stereo Output flexible routing Stereo Output gain Stereo Out Mode (LTC, Audio, or Split)	Stereo Out Mute L,R Delay USB Outputs 1-8
File List Options	Name Number Trash File Cue Move Cue Name Cue Delete	Undo Recording Name Number Notes Track Names	Trash File Cue Move Cue Name Cue Delete
Aux In Options	Mic Line Timecode Aux In 1 and 2 Off	Mic Line Timecode Aux In 1 and 2 Camera Return Off	
Ambisonics	Not Available	Requires Plugin	
MixAssist	Not Available	Requires Plugin	
NoiseAssist	Not Available	Requires Plugin	
Record Options	Sample Rate fixed at 48 kHz Bit Depth fixed at 24 bit Records only the Left/Right mix Pre-roll Record Triggers Record Bells	Sample Rate Options 44.1 - 192 kHz Bit Depth options 16, 24, 32 (float) Record Isolated channels and mix tracks Individual control of Left and Right gain Individual control of Left and Right record arming Pre-roll Record Triggers Record Bells Remix & Rerecord NoiseAssist, Left and Right (requires plugin)	
Tone Menu	On or Off	On or Off L Ident Tone Tone Level	
Limiters	Always On	Limiters (Off, Factory, Custom) Custom Limiter options (Ratio, Threshold, Release)	

MixPre-10 II Basic VS Advanced

FEATURE	BASIC	ADVANCED	
Gain	Channel knob controls all gain for a channel.	Dual gain stage. Input gain is set in the Channel Screen. Channel knob controls post-fade levels to mix bus.	
Channel Screen Options	Pan (Left, Center, Right) Input Phantom Low Cut (On or Off)	Solo Mute Track Arm (Iso Tracks) Gain Pan (variable options) Input	Phantom Low Cut (variable options) Phase Delay NoiseAssist (requires plugin) Stereo and MS Linking
Headphone Options	LR Stereo X1X2 Stereo USB 1,2 USB 3,4	LR Stereo LR Mono X1X2 Stereo USB 1,2 USB 3,4 Presets 1-4	Edit Presets Camera Stereo Camera Mono HP Solo mode (Multiple or Individual)
Outputs	Fixed routing of LR mix	L,R and X1,X2 flexible routing L,R and X1,X2 gain L,R and X1,X2 Out Mute L,R and X1,X2 Delay USB Outputs 1-12	
File List Options	Name Number Trash File Cue Move Cue Name Cue Delete	Undo Recording Name Number Notes Track Names	Trash File Cue Move Cue Name Cue Delete
Aux In Options	Mic Line Timecode Aux In 1 and 2 Off	Mic Line Timecode Aux In 1 and 2 Camera Return Off	
Ambisonics	Not Available	Requires Plugin	
MixAssist	Not Available	Requires Plugin	
NoiseAssist	Not Available	Requires Plugin	
Record Options	Sample Rate fixed at 48 kHz Bit Depth fixed at 24 bit Records only the Left/Right mix Pre-roll Record Triggers Record Bells	Sample Rate options 44.1 - 192 kHz Bit Depth options 16, 24, 32 (float) Record Isolated channels and mix tracks Individual control of Left and Right gain Individual control of Left and Right record arming Pre-roll Record Triggers Record Bells Remix & Rerecord NoiseAssist, Left and Right (requires plugin)	
Tone Menu	On or Off	Flexible Tone Routing Tone Level L Ident Tone Tone Level	
Limiters	Always On	Limiters (Off, Factory, Custom) Custom Limiter options (Ratio, Threshold, Release)	

Custom Mode

カスタム モードでは、基本操作と高度な操作を独自に組み合わせて選択できます。このモードでは、アドバンスモードの選択されたカテゴリへのアクセスが許可されます。

カスタムセットアップの構成

1. [システム] > [モード] を [カスタム] に設定します。
2. [システム] > [カスタム セットアップ] で、各カテゴリを基本または詳細に設定します。

Category	Description
Channel	Allows advanced operation of the following items: Channel Solo, Mute, Track Arm, Pan, Low Cut, Phase, Delay, NoiseAssist (requires plugin), Channel Linking, and isolated track recording.
Gain	Allows advanced operation of channel gain, including dual gain stage (gain and fader) and Remix.
Headphone	Allows access to advanced headphone presets and channel solo.
Record	Allows advanced operation of isolated track arming and recording, LR track linking and gain, sample rate, and bit depth.
Metadata	Allows advanced operation in the File List. This includes metadata entry and editing of name, number, notes, track names, and access to the undo recording feature.
Outputs	Allows advanced operation of Output menu items such as mute, gain, mode, and routing.

Channel Screen – Basic Mode

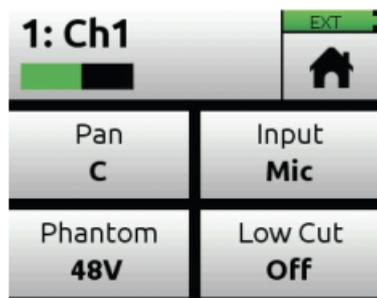
MixPre II の柔軟性は、ミキサー チャンネルへのさまざまな入力タイプを選択できる機能によって強化されています。 MixPre-3 II では、XLR マイク/ライン入力、3.5 mm Aux ラインまたはマイク入力、または USB チャンネルからチャンネルをソースできます。 MixPre-6 II および MixPre-10 II では、チャンネルは XLR または TRS マイク/ライン入力、3.5 mm Aux ラインまたはマイク入力、または USB チャンネルから供給できます。

チャンネルのノブを押して、チャンネルの入力設定にアクセスします。 MixPre-3 II には 3 チャンネル入力、+2ch プラグインを備えた MixPre-3 II には 5 チャンネル入力、MixPre-6 II には 6 チャンネル入力、MixPre-10 II には 10 チャンネル入力があります。

+2ch プラグインを備えた MixPre-3 II の追加チャンネル 4 ~ 5、MixPre-6 II の ch 5 ~ 6、および MixPre-10 II の ch 9 ~ 10 の設定は、Inputs メニューからアクセスします。 入力ソース、ゲイン、パン、ローカットはすべてこのメニューで使用できます。

ヒント: 「入力」メニューを経由せずに、これらの追加チャンネルの入力設定に素早くアクセスするには、「HP」ノブと「Ch 1」または「Ch 2」ノブを同時に押します。

チャンネルはノブで調整される単一のゲインステージを使用します。チャンネルノブで設定したレベルは、LR ミックス録音チャンネルに送信され、LR 出力。 リミッターは各チャンネルと LR ミックス バスに存在し、オーディオが偶発的にクリップされるのを防ぎます。



Pan

ステレオ LR ミックスとステレオ アウトでチャンネルの信号を左、中央、または右にパンします。

Low Cut

ローカットフィルターをオンまたはオフにします。 選択したチャンネルのオーディオ内の不要な低周波を低減するのに役立ちます。 Basic モードでは、ローカットは 80 Hz に固定されます。 USB 入力ソースではローカットは利用できません。

Input

使用可能なマイク、ライン、Aux (Aux In Mode が Mic または Line の場合に利用可能)、または USB 入力のいずれかをチャンネル ソースとして選択します。

Input Types	Description
Mic	Use for microphones. For condenser mics requiring 48 V phantom power, set Phantom to On.
Line	Use this type for balanced analog line level sources.
Aux In	Use for unbalanced stereo input. Aux In 1 or Aux In 2
USB	Use for sources coming from a computer via USB-C. Select USB 1 or 2 and if a MixPre-6 or 10, USB 3 or 4.

Phantom

選択したチャンネルでコンデンサーマイクを使用する場合は、48 V ファンタム電源をオンにします (入力が Mic の場合に利用可能)。

Channel Screen - Advanced Mode

MixPre II の柔軟性は、ミキサー チャンネルへのさまざまな入力タイプを選択できる機能によって強化されています。MixPre-3 II では、XLR マイク/ライン入力、3.5 mm Aux ラインまたはマイク入力、または USB チャンネルからチャンネルをソースできます。MixPre-6 II および MixPre-10 II では、チャンネルは XLR または TRS マイク/ライン入力、3.5 mm Aux ラインまたはマイク入力、または USB チャンネルから供給できます。

チャンネルのノブを押して、チャンネルの入力設定にアクセスします。MixPre-3 II には 3 チャンネル入力、+2ch プラグインを備えた MixPre-3 II には 5 チャンネル入力、MixPre-6 II には 6 チャンネル入力、MixPre-10 II には 10 チャンネル入力があります。

+2ch プラグインを備えた MixPre-3 II の追加チャンネル 4 ~ 5、MixPre-6 II の ch 5 ~ 6、および MixPre-10 II の ch 9 ~ 10 の設定は、Inputs メニューからアクセスします。入力ソース、ソロ、ミュート、アーム、ゲイン、パン、ローカット、リンク*はすべてこのメニューで利用できます。
ヒント: 「入力」メニューを経由せずに、これらの追加チャンネルの入力設定に素早くアクセスするには、「HP」ノブと「Ch 1」または「Ch 2」ノブを同時に押します。

*注: +2ch プラグインを備えた MixPre-3 (I または II シリーズ) は、チャンネル 4 と 5 のリンクをサポートしていません。

チャンネルはデュアルゲインステージを使用します。チャンネル画面のゲインコントロールとフェーダーレベルをノブで調整します。リミッターは各チャンネルと LR ミックス バスに存在し、オーディオが偶発的にクリップされるのを防ぎます。

Solo

ヘッドフォン出力で選択したチャンネルを「ソロ」にできます。ソロモードは HP メニューで「個別」または「複数」に設定できます。
チャンネルがソロになると、LED リングがオレンジ色に点滅します。

Mute

入力のミュートにすばやくアクセスできます。

Arm

SD カード上の個々のトラックにチャンネルをプリフェード録音できます。

Gain

入力の感度を設定します。一般に、オーディオ信号の最も音量の大きい部分がメーターの赤いセグメントにちょうど触れるようにゲインを設定する必要があります。フロントパネルのコントロールノブはフェーダーとして機能します。

Pan

チャンネルのオーディオを、LR ミックスとステレオ出力のステレオイメージの左と右の間の任意の場所に配置できます。

Low Cut

ローカットフィルターをオンまたはオフにします。選択したチャンネルのオーディオ内の不要な低周波を低減するのに役立ちます。周波数は 40、80、100、120、または 160 Hz から調整できます。USB 入力ソースではローカットは利用できません。

Input

使用可能なマイク、ライン、Aux In 1、Aux In 2 (Aux In Mode が Mic または Line の場合に利用可能)、または任意の USB 入力のいずれかをチャンネル ソースとして選択します。

Phantom

選択したチャンネルでコンデンサーマイクを使用する場合、48 V ファンタム電源をオンにします (入力がマイクの場合に利用可能)

Phase

位相反転（または極性反転）は、誤って配線されたバランス ケーブルを補正したり、ソースが反対方向からデュアル マイクで接続されている場合の信号キャンセルを防止したり、マイクがミッドサイド（MS）にある場合に左右を反転したりするために使用されます。

Delay

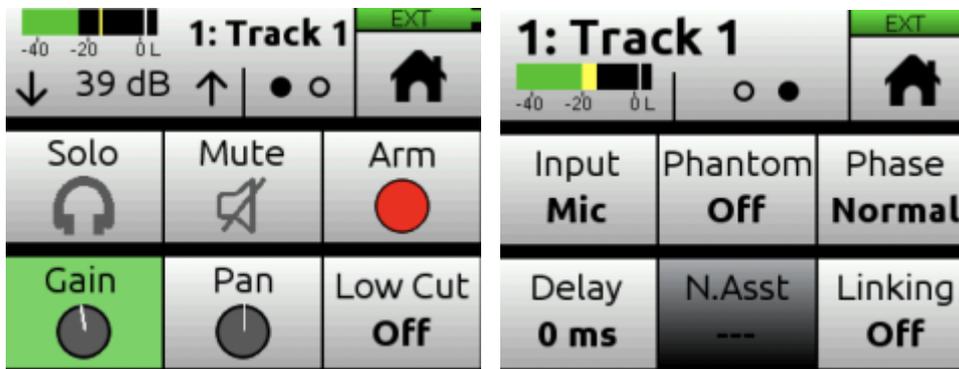
入力遅延は、同じ音源を拾うブーム マイクとワイヤレス ラジオ マイクなど、音源間の到着時間の違いによる「位相のずれた」音声を補正するために使用される場合があります。

NOISEASSIST (Requires Plugin)

チャンネルに適用されるノイズ抑制の量を設定します。0 dB（抑制なし）から -20 dB（最大抑制）まで 1 dB ステップで調整します。システム > NoiseAssist メニューでチャンネルが選択されている場合にのみ使用できます。

Linking

奇数と偶数のチャンネルペアは、ステレオペアまたはミッドサイドペアとしてリンクできます。



Linking Channels

ステレオ ソース（キーボードやステレオ マイクなど）を使用して作業していますか？ このようなタイプのソースを簡単に調整できるように、MixPre II では、ステレオ ペアまたはミッドサイド（MS）ペアとしてチャンネル ペア（1-2、3-4 など）をリンクできます。

注：MixPre-3（+2ch プラグインの有無にかかわらず）はチャンネル 1 ~ 2 のリンクのみを提供します。

Stereo Pair Linking

最初（奇数）のチャンネルノブを使用して、最初と 2 番目のチャンネル両方のレベルを制御します。2 番目（偶数番号）のチャンネルノブはバランスコントロールとして機能します。

MS Pair Linking

最初（奇数）のチャンネルノブを使用して、最初と 2 番目のチャンネル両方のレベルを制御します。2 番目（偶数番号）の Channel ノブは幅コントロールとして機能します。[入力] > [MS デコード] メニューで、MS デコードをミックスのみに適用するか、ISO とミックスの両方に適用するかを選択できます。

Multichannel Linking

複数のチャンネルがリンクされている場合、ゲイン、フェーダー、リミッター、トラックアーミング、ローカットフィルター、入力ディレイはすべて最初のチャンネルからリンクされ、制御されます。さらに、[リンクタイプ] メニューには、パラメータをリンクするためのオプションが用意されています。

[すべてのリンク] 入力タイプ、トリム ゲイン、フェーダー、リミッター、ローカット、レコード アーム、およびディレイ [フェーダーのみ] はフェーダー レベルのみをリンクします。

MixPre-6 II はチャンネル 1 ~ 3 と 1 ~ 4 をリンクできます。

MixPre-10 II はさらに、チャンネル 1-3、1-4、1-5、1-6、1-7、1-8 をリンクできます。

Gain Staging with Linking

シングルゲインステージまたは 2 ゲインステージ (トリム/フェーダー) 操作とリンクして使用できます。たとえば、入力 1-2 または 1-4 をリンクしたいが、すべてのレベルをフロントパネルのチャンネル 1 ノブで制御したい場合は、システム > モードをカスタムに設定し、カスタム セットアップでゲインをベーシックに、チャンネルをアドバンスに設定する必要があります。

これらの同じ入力をリンクしたいが、2 つのゲインステージを使用したいユーザーは、ゲインとチャンネルの両方をアドバンスに設定したアドバンスモードまたはカスタムモードを使用する必要があります。次に、チャンネル 1 画面からリンクされたチャンネルのトリム ゲイン レベルを調整し、チャンネル 1 ノブを使用してリンクされたチャンネルのフェーダー レベルを調整できます。

Inputs Menu

入力メニューでは、ソフトウェア制御のチャンネル画面 (オプションの +2ch プラグインを使用した MixPre-3 II では 4 ~ 5、MixPre-6 II では 5 ~ 6、MixPre-10 II では 9 ~ 10)、Aux In モード設定にアクセスできます。、MS デコード設定、ノブ プレス オプション、アンビソニックス (オプションのプラグインを使用した場合の MixPre-6 II および MixPre-10 II のみ)、および MixAssist (オプションのプラグインを使用した場合)。

Software-Controlled Channel Screens

オプションの +2ch プラグインを使用した MixPre-3 II のチャンネル 4 と 5、MixPre-6 II のチャンネル 5 と 6、または MixPre-10 II のチャンネル 9 と 10 のチャンネル画面では、チャンネルの設定と機能にアクセスできます。これには、入力ソース、ソロ、ミュート、アームトラック、ゲイン、パン、ローカット、リンク*、およびノイズアシスト減衰 (ノイズアシストプラグインがインストールされており、システム > ノイズアシストメニュー経由でチャンネルにルーティングされている場合) が含まれます。

*注: +2ch プラグインを備えた MixPre-3 (I または II シリーズ) は、チャンネル 4 と 5 のリンクをサポートしていません。

Input Source

+2ch プラグインを備えた MixPre-3 II ではチャンネル 4 と 5、MixPre-6 II ではチャンネル 5 と 6、MixPre-10 II ではチャンネル 9 と 10 の入力ソースを選択します。

- MixPre-3 II with +2ch plugin: Off, USB 1-2, Aux In 1, or Aux In 2
- MixPre-6 II channel 5: Off, Aux In 1, Aux In 2, USB 1, or USB 3
- MixPre-6 II channel 6: Off, Aux In 1, Aux In 2, USB 2, or USB 4
- MixPre-10 II channel 9: Off, Aux In 1, Aux In 2, USB 1, or USB 3
- MixPre-10 II channel 10: Off, Aux In 1, Aux In 2, USB 2, or USB 4

AUX In Mode

Aux/Mic In 3.5 mm コネクタの使用方法を設定します。

- **マイク:** Aux/Mic In をマイクで使用する場合は、このオプションを選択します。 MixPre II は、PiP (プラグインパワー) マイクにバイアス電圧を提供します。 Aux 1 と 2 は、どのチャンネルへの入力ソースとしても利用できます。
- **Line:** Aux/Mic In をスマートフォンのヘッドフォン出力、ステレオ ライン ソースなどのアンバランス 2ch ライン ソースで使用する場合は、このオプションを選択します。 Aux 1 と 2 は、どのチャンネルへの入力ソースとしても利用できます。
- **カメラ:** MixPre II のヘッドフォンとメータービューにあるカメラリターン (C1/C2) メーターを介してビデオカメラのオーディオ出力をモニタリングするために Aux/Mic In を使用する場合は、このオプションを選択します。

○特に MixPre II を使用してカメラに記録される音質を大幅に向上させたい場合に便利です。 カメラのマイク入力が高品質ではないことはよく知られているため、代わりにマイクを MixPre II に接続し、MixPre II の L/R 出力をカメラのオーディオ入力に接続すると、はるかに優れた音質が得られます。 次に、カメラのオーディオ出力を MixPre II の Aux/Mic In に接続すると、カメラのオーディオにノイズや歪みがないことを確認できます。

○このオプションを選択すると、カメラ ゲインと呼ばれる追加設定が入力メニューに表示されます。 これにより、受信カメラ音声レベルのゲインを調整できます。 [HP プリセット] メニューでは、追加のカメラ監視オプションも利用できます。

○Aux In モードが Camera に設定されている場合、Aux In をチャンネルにルーティングできないため、録画できません。

- **タイムコード (Aux In 1 または 2):** Aux/Mic In ポートに接続された外部タイムコード ソースを使用する場合は、このオプションを選択します。

The 3.5 mm TRS connector is wired to receive timecode on its tip for Aux 1 or ring for Aux 2.

- メニュー > タイムコード > TC モードを Aux In 1 または Aux In 2 に適宜設定します。
- Aux In Mode が Timecode に設定されている場合、Aux In オーディオは無効になり、チャンネルにルーティングできません。

- **オフ:** Aux/マイク入力をオフにするには、このオプションを選択します。

MS Decode

MS Linked に設定されているすべてのチャンネル ペアに適用されます。 ISO とミックス (MS ソースを ISO とミックス上でステレオにデコードします) とミックスのみ (MS をステレオにデコードしてミックスのみにし、ISO はデコードされていない MS のままにする) から選択します。

Knob Press

チャンネルノブを押したときの動作を選択します。 アドバンスモードで利用可能です。

1. Ch.View: チャンネルノブを押すとチャンネルビューに入ります。 チャンネルゲインは入力時に自動的に選択されます。

2. Ch.View + Solo: チャンネルノブを押すとチャンネルビューに入り、チャンネルが自動的にソロになります。 チャンネルゲインは入力時に自動的に選択されます。

ノブを押して Ch.View + Solo に設定すると、複数の HP ソロは許可されません。 HP Solo モードが以前に「複数」に設定されていた場合、自動的に「個別」に設定されます。

AMBISONICS

MixPre-6 II および MixPre-10 II のみ。 プラグインが必要です。 詳細については、別のアンビソニックス ガイドを参照してください。

MIXASSIST

プラグインが必要です。 MixAssist は、ミュージック モードまたはアンビソニックス モードでは使用できません。 詳細については、別の MixAssist ガイドを参照してください。

NOISEASSIST

プラグインが必要です。 NoiseAssist は、音楽モードまたはアンビソニックス モードでは使用できません。 詳細については、別の NoiseAssist ガイドを参照してください。

Metering

MixPre II の入力レベルと出力レベルを観察するには 5 つの基本的な方法があります。

Channel Knob Ring LEDs

ライトリングの明るさは入力レベルを示します。 緑 = 信号が存在する、赤 = 信号のピーキング、オレンジ = 信号が制限されています。

チャンネルのリング LED は、ソロの場合はオレンジ色に点滅し、チャンネルがミュートされている場合は赤色に点灯します。 MixAssist がアクティブな場合、リング LED は緑色に点灯し、チャンネルがアクティブであることを示します。

Channel Screen Meter

チャンネル画面の左上隅に独立したチャンネルメーターが表示されます。

Home Screen Meters

メーターの表示を切り替えるには、メーターをタッチして 3 つの異なる表示を切り替えます。 メーターには、信号レベル、各トラックの現在のアームステータス、リミッターアクティビティ、MixAssist アクティブチャンネルステータス、および NoiseAssist サプレッション量が表示されます。

Meter Ballistics

オーディオメーターの弾道は、ビジュアルメーターがオーディオ信号レベルに反応する方法です。 ピーク読み取り弾道は実際の信号のピークに対応しますが、知覚される信号の音量に必ずしも対応するとは限りません。 ピークメーターは瞬時のアタックとゆっくりとした減衰を備えており、信号の過負荷が即座に歪みを引き起こす可能性があるデジタルオーディオワークフローで役立ちます。 音量単位 (VU) メーターの弾道は、人間の耳が音量を知覚する方法に密接に対応しています。 VU メーターは、信号の大きさを視覚的にわかりやすく示しますが、実際の信号のピークに関する情報は不十分です。

MixPre II は、すべてのメーターでピーク + VU 弾道を組み合わせて使用します。 知覚されたラウドネス (または VU) は標準バーとして同時に表示され、ピーク信号は VU の上に単一の独立したセグメントとして表示されます。

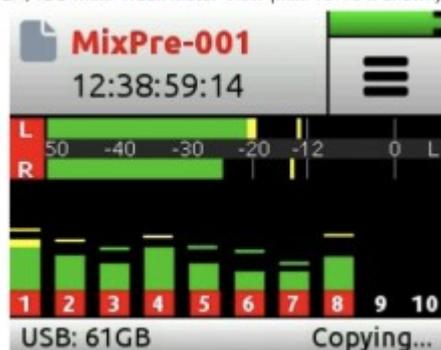
Channel Screen Meter



Main LR Stereo Meter View



LR, ISO Multi-Track Meter View (MixPre-10 II shown)



LR, Camera Returns, and USB 1,2 Meter View



Limiters

MixPre II には、レシオ、リリース、スレッシュホールドを制御できる完全に調整可能なリミッター パラメーターがあります。リミッターは、ダイアログ、フォーリー、自然録音、さらには生の楽器に合わせて微調整できます。「メニュー」>「システム」>「リミッター」に移動して、「リミッター」メニューにアクセスします。

「リミッター」メニューでは次のオプションが使用できます。

On/Off

リミッターのオンとオフを切り替えます。「オン」に設定すると、リミッターはグローバル設定となり、すべてのチャンネルに適用されます。

Limiter Setup

リミッターのプリセットを工場出荷時とカスタムの間で切り替えます。

Custom

Custom Limiter セットアップ メニューに入り、次のパラメータを調整します。

Ratio

リミッティング比率を設定します。オプションは Inf:1、10:1、および 20:1 です。20:1 がデフォルト設定です。

Release

50 ~ 1000 ミリ秒の範囲で 10 ミリ秒単位で調整できます。100 ミリ秒がデフォルト設定です。

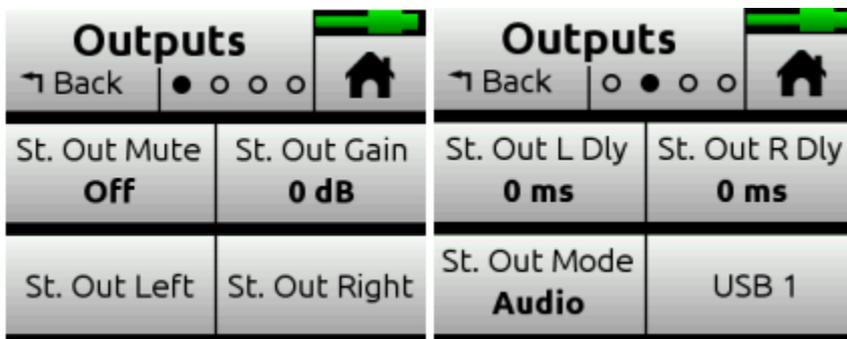
Threshold

しきい値は、-2 ~ -12 dBFS の範囲で 1 dB ステップで調整できます。-6 dBFS がデフォルト設定です。カスタム リミッター モードで行った変更はメニューを終了した後も保持されるため、工場出荷時の設定と独自のカスタム リミッター設定を比較できます。

32 ビット浮動小数点モードではリミッターは無効になります。

Outputs

MixPre II は、柔軟な録音シナリオに対応する複数の出力構成を備えています。[出力] メニューは、詳細モードで使用できます。「出力」メニューでは、任意のチャンネル、Aux 入力、USB 入力、または LR ミックスを出力のいずれかに送信したり、出力をミュートしたり、ゲインを制御したりできます。MixPre-3 II および MixPre-6 II ステレオ出力は、オーディオ、タイムコード、または分割オーディオ/タイムコードを送信するように設定できます。



MixPre-3 II and MixPre-6 II

Stereo Out Mute

出力をミュートします。

Stereo Out Gain

出力ゲインの調整は、トランスミッター、外部ミキサー、PA などの下流デバイスに供給するレベルを最適化するのに役立ちます。出力のレベルは、オフ、40 ~ +20 dB に 1 dB ステップで設定できます。St. Out Mode がタイムコードに設定されている場合は使用できません。

Stereo Out Left Or Right

出力ソースを設定します。Mix L、Mix R、分離チャンネル (プリフェードまたはポストフェード)、Aux In、またはコンピューターから MixPre II への USB ストリーミングから選択します。St. Out Mode がタイムコードに設定されている場合は使用できません。

Left, Right Output Delay

出力遅延は、プロダクション セットまたはライブ ストリーミング アプリケーションのビデオ オペレーターにオーディオを送信して、オーディオがビデオと同期していることを確認する場合に特に便利です。出力は 0 ~ 400 ミリ秒まで遅延できます。遅延は、ステレオ出力の左右、および出力 L または R からルーティングされる USB 出力に適用されます。

Stereo Out Mode

LTC タイムコード、ステレオ オーディオ出力、または分割オーディオ/タイムコード出力として使用される出力を設定します。

Stereo Out Left Or Right

出力ソースを設定します。Mix L、Mix R、分離チャンネル (プリフェードまたはポストフェード)、Aux In、またはコンピューターから MixPre II への USB ストリーミングから選択します。

USB 1-6 (MixPre-3 II)

出力ソースを L、R、1 ~ 3 (プリフェードまたはポストフェード)、ヘッドフォン L、R、または出力 L、R から設定します。

USB 1-6 (MixPre-3 II with +2ch plugin)

出力ソースを L、R、1 ~ 5 (プリフェードまたはポストフェード)、ヘッドフォン L、R、または出力 L、R から設定します。

USB 1-8 (MixPre-6 II)

出力ソースを L、R、1 ~ 6 (プリフェードまたはポストフェード)、ヘッドフォン L、R、または出力 L、R から設定します。

MixPre-10 II

L/R Out Mute

出力をミュートします。

X1/X2 Out Mute

出力をミュートします。

L/R Gain

出力ゲインの調整は、トランスミッター、外部ミキサー、PA などの下流デバイスに供給するレベルを最適化するのに役立ちます。

出力レベルはオフ、40 ~ +20 dB まで 1 dB ステップで設定できます。

X1/X2 Gain

出力レベルをオフ、40 ~ +20 dB まで 1 dB ステップで調整します。

Left Or Right Output

出力ソースを設定します。Mix L、Mix R、分離チャンネル (プリフェードまたはポストフェード)、Aux In、またはコンピューターから MixPre II への USB ストリーミングから選択します。

Left, Right, X1, X2 Output Delay

出力遅延は、プロダクション セットまたはライブ ストリーミング アプリケーションのビデオ オペレーターにオーディオを送信して、オーディオがビデオと同期していることを確認する場合に特に便利です。出力は 0 ~ 400 ミリ秒まで遅延できます。遅延は、左、右、X1、X2 出力と、Out L、R、X1、または X2 からルーティングされる USB 出力に適用されます。

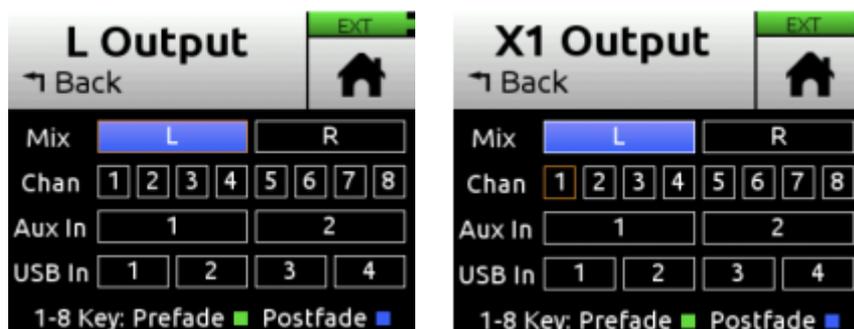
USB 1-12

出力ソースを L、R、1 ~ 10 (プリフェードまたはポストフェード、ヘッドフォン L、R、または出力 L、R、X1、X2) から設定します。

To Route The L/R and X1/X2 Stereo Outputs:

1.  をタップします。
2. 出力をタップします。
3. 次のいずれかを選択します。
 - a. L Output
 - b. R Output
 - c. X1 Output
 - d. X2 Output
4. ルーティング マトリックスから、出力に送信するチャンネルを選択します。

さらに、チャンネルを出力に送信することを選択した場合は、プリフェード (チャンネルノブは効果なし) またはポストフェード (チャンネルノブでレベルを制御) を選択できます。



Headphone Out

MixPre II の高品質ヘッドフォン アンプは、高出力と非常に低いノイズ性能を備えているため、ヘッドフォンや環境に関係なくオーディオを正確に聞くことができます。

3.5 mm ジャックを介してヘッドフォンをヘッドフォン ジャック (右側のサイド パネルにあります) に接続します。ヘッドフォンの音量は、ヘッドフォン ジャックのすぐ隣にあるノブを使用して設定します。

ヘッドフォンアンプは非常に高い出力レベルが可能です。不適切な音量レベルでは聴覚障害を引き起こす可能性があるため、ヘッドフォンを着用する場合は注意してください。

ヘッドフォンでクリッピングが発生すると、ヘッドフォン クリップ インジケータが画面の右上隅の電源ステータス インジケータの上に表示されます。



Access The Headphone Preset Menu

1. メインメニューに入ります。
2. 左上隅の をタップします。
3. このアイコンの上には、現在選択されている HP プリセットが表示されます。

Advanced Mode - Creating A Custom HP Preset

[HP プリセットの編集 (Advanced モードのみ)] を選択して、ユーザー HP プリセットを編集し、名前を付けます。

Advanced Mode - HP Solo

HP Solo モードでは、シングルまたはマルチチャンネルのソロ モニタリングのオプションが提供されます。チャンネルのソロ化はチャンネル画面で実行されます。

Disabling Record Bells In Headphones

録音の開始時と停止時にヘッドフォンから聞こえる録音ベルがオフになる場合があります。録音ベルは録音メニューでオフにできます。

モデル別のヘッドフォン プリセット オプション

MixPre-3 II

基本モード: LR ステレオ、USB 1、2、アドバンスト モード: LR ステレオ、LR モノ、USB 1、2、ユーザー プリセット 1 ~ 4

Aux In がカメラに設定されている場合、カメラ オプションが表示されます。

MixPre-6 II

基本モード: LR ステレオ、USB 1、2、USB 3、4

アドバンスト モード: LR ステレオ、LR モノラル、USB 1、2、およびユーザー プリセット 1 ~ 4

Aux In がカメラに設定されている場合、カメラ オプションが表示されます。

MixPre-10 II

基本モード: LR ステレオ、X1X2 ステレオ、USB 1、2、USB 3、4、およびユーザー プリセット 1 ~ 4。

アドバンスト モード: LR ステレオ、LR モノラル、X1X2 ステレオ、USB 1、2、USB 3、4、およびユーザー プリセット 1 ~ 4。

Aux In がカメラに設定されている場合、カメラ オプションが表示されます。

Tone

内蔵のトーンジェネレーターを使用して外部デバイスに信号を供給し、ゲインステージングを支援できます。レベルは-20~0dBFS の範囲で調整できます。2 つのトーンモードが利用可能です。Continuous または L-Ident。后者はステレオ信号の左チャンネルを識別するのに役立ちます。

MixPre-3 および MixPre-6 II: トーンは L トラックと R トラックおよびステレオアウトにルーティングされます。トーンは [トーン] メニューから有効にします。

MixPre-10 II: トーンはトラックと出力の任意の組み合わせにルーティングできます。トーンは、「トーン/スレート」メニューから有効になります。

Slate Mic (MixPre-10 only)

内蔵のスレートマイクはスレートまたはコム用に使用できます。レベルは 0 から 50dB まで調整できます。[トーン/スレート] メニューからアクティブにするか、ショートカットの * または ** スイッチを使用してアクティブにします (適切に設定されている場合 - スター ショートカットの使用を参照)。スレートマイクは、トラックと出力の任意の組み合わせにルーティングできます。

USB Audio Interface

MixPre II シリーズは、高度な機能と純粋な品質の USB オーディオ インターフェイスとして機能します。16、24、32 ビット整数または 32 ビット浮動小数点のビット深度で最大 96 kHz のサンプル レートをサポートします。MixPre II の 32 ビット フロート USB オーディオ パスにより、クリッピングなしで 0 dBFS 以上で DAW に録音できます。

互換性のある 32 ビット float OS および DAW のリストは、www.sounddevices.com/32-bit-float-applications でご覧いただけます。

PC ユーザーの場合、特定の ASIO® ドライバーがインストールされていない限り、MixPre II は 2x2 オーディオ インターフェイスとして表示されます。最新の ASIO ドライバーは、www.sounddevices.com/download から無料で入手できます。

32 ビット フロート オーディオをストリーミングするには、Windows 10 以降を実行している PC が必要です。Windows 7 以前を実行している PC は、32 ビット浮動小数点でオーディオをストリーミングしません。オペレーティング システムに応じて正しい ASIO ドライバーをインストールしてください。

ホスト コンピュータからの USB オーディオを使用するには、USB 1 ~ 4 ソースを適切にルーティングする必要があります。ホスト コンピュータからの USB オーディオと LR バスへの入力からのライブ オーディオをミックスするには、チャンネル画面を使用して入力ソースを選択します。USB ホスト コンピュータのオーディオをヘッドホンのみで聞くには、HP プリセットを USB 1、2 または USB 3、4 に切り替えます。

MixPre II は、オーディオの録音と USB ホストへのストリーミングを同時に行うことも、USB オーディオ ストリームをコンピューターから SD レコーダーに直接録音することもできます。

USB オーディオ インターフェイスとしてコンピューターに接続すると、MixPre II のサンプル レートはコンピューターによって決まります。

Low-Latency Monitoring

MixPre-II を USB インターフェイスとして使用する際のレイテンシーは最小限に抑えられています。スループットのレイテンシが必要以上に高い状況では、入力をヘッドホン出力で直接モニタリングできます。

To Monitor With Zero-Latency:

1. USB-C 経由でコンピューターの USB ポートに接続します。
2. LR ステレオ HP プリセットが選択されていることを確認します。
3. チャンネル 1 ソース (MixPre-3 II)、チャンネル 5 ソース (MixPre-6 II)、またはチャンネル 9 ソース (MixPre-10 II) およびパン L として USB 1 を選択します。
4. チャンネル 2 ソース (MixPre-3 II)、チャンネル 6 ソース (MixPre-6 II)、またはチャンネル 10 ソース (MixPre-10 II) およびパン R として USB 2 を選択します。

または

1. 録音するマイクまたは入力とコンピューターからの USB 1 および/または USB 2 フィードをミックスするカスタム HP プリセットを作成します。たとえば、HP L = Ch1 + U1 および HP R = Ch1 + U2 です。
2. マイクまたはその他の入力を残りのチャンネルに接続します。
3. チャンネル 1 ソース (MixPre-3 II)、チャンネル 5 ソース (MixPre-6 II)、またはチャンネル 9 ソース (MixPre-10 II) およびパン L として USB 1 を選択します。
4. チャンネル 2 ソース (MixPre-3 II)、チャンネル 6 ソース (MixPre-6 II)、またはチャンネル 10 ソース (MixPre-10 II) およびパン R として USB 2 を選択します。
5. マイクまたはその他の入力を残りのチャンネルに接続します。
6. 残りのチャンネルに適切な入力を選択します。
7. 利用可能なチャンネルのいずれかをソースとする新しいトラック用に DAW ソフトウェアをセットアップします。
8. DAW でレコードモニタリングを無効にするか、チャンネルの出力をミュートします。

これで、MixPre の USB 1 と 2 に設定したチャンネルを通じて DAW オーディオの出力を聞いて調整できるようになり、残りのチャンネル ノブを使用してヘッドホンでの低レイテンシー フィードを調整 (および DAW への送信レベル) できるようになります。

USB Output Routing

MixPre の各 USB オーディオ出力ストリームは、任意のチャンネル (プリフェードまたはポストフェード)、LR ミックス パス、ヘッドフォン出力または LR 出力、および X1、X2 (MixPre-10 II のみ) から供給できます。

Mix-Minus Sends

ミックスマイナス送信は、ポッドキャスト、会議、ブロードキャスト アプリケーションでリモートの投稿者と作業するとき使用されます。これにより、遠隔地の投稿者は自分の声を除いたプログラム ミックスを聞くことができ、気が散る遅延がなくなりました。

To Setup Up A Mix-Minus Send:

1. Outputs>St.Out Left または St.Out Right メニュー (または MixPre-10 II の L、R、X1、または X2 Output メニュー) で、送信するすべてのチャンネルの合計ミックスを作成します。リモート投稿者から自分のチャンネルを除いたもの。チャンネルをプリフェードまたはポストフェードでミックスできます。
2. ステップ 1 で設定した出力を、リモート共同作成者に送信する USB チャンネルのソースとして選択します。



System

Mode

基本、詳細、カスタムを切り替えます。

File Transfer

MixPre とホスト コンピューター間でファイルを転送します。

USB Audio

ノーマルアウトまたはステレオアウトを切り替えます。ステレオ出力オプションを使用すると、マルチチャンネル USB オーディオをサポートしていないアプリケーションとの互換性を高めるために、USB オーディオ インターフェイスが 2 チャンネルのみを出力するように設定できます。

USB-C (MixPre-3 II and MixPre-6 II Only)

USB-C 電源またはオーディオソースで使用する場合は、電源のみまたはオーディオを切り替えます。

Limiters

リミッターをオフ、工場出荷時、またはカスタムに設定します。

Bluetooth

Bluetooth のオン/オフを切り替えます。

NOISEASSIST (Plugin Required)

NoiseAssist ルーティングを有効にして設定します。

Wingman Password

Wingman アプリに必要なパスワードを設定します。

Brightness

タッチスクリーンとリング LED の明るさを調整します。

Date/Time

現在の日付/時刻と形式を設定します。

Tune Crystal (MixPre-10- II Only)

内部クリスタル周波数を外部ワードクロックまたは BNC 入力経由の LTC 信号に微調整します。

Regulatory

連邦通信委員会 (FCC) の完全なコンプライアンス情報を提供します。

Version

モデルのタイプ、現在のファームウェアのバージョン、シリアル番号を提供します。

Update Firmware

www.sounddevices.com/support/downloads

SD カード上のファイルからファームウェアをアップデートします。最新のファームウェアは、Sound Devices Web サイトからダウンロードできます。

ファームウェアを更新している間、次の方法で MixPre に電力を供給します。

MixPre-3、-3M、-3 II、MixPre-6、-6M、または -6 II の USB-C

コンピューターから USB-C 経由で電源を供給する場合は、メニュー > システム > USB-C を電源のみに設定するのが最適です。

MixPre-10T、-10M、または -10 II には付属のヒロセ電源を使用してください。

完全に充電されたバッテリーもすべてのモデルで使用できます。

電源が不安定な状態でアップデートを行わないでください。

バッテリー残量が少ない場合、ファームウェアの更新は妨げられます。

ファームウェア バージョン 6.0 より前のバージョンからファームウェア バージョン 7.0 以降にアップグレードする場合は、ファームウェアのインストール プロセスを 2 回完了する必要があります。最初のインストールが完了すると、MixPre II は 2 番目のインストール プロセスを開始するように求めるプロンプトを表示します。

Plugins

プラグインを表示して適用します。プラグインは MixPre II の機能を強化し、以下で購入できます。

<https://store.sounddevices.com/>

Formatting Media

信頼性の高い録音と再生を行うには、SD カードを MixPre II でフォーマットする必要があります。フォーマットする前に、必要なオーディオ録音またはデータを SD カードにバックアップしてください。フォーマット処理により、SD カード上のすべてのデータが消去されます。

USB サムドライブが USB A ポートに挿入されている場合、MixPre II は現在のプロジェクトの録音ファイルを自動的にそこにコピーします。サムドライブも使用前にフォーマットする必要があります。

Sound Devices ブランドの SD カードは最高のパフォーマンスを提供するように最適化されているため、使用することを強くお勧めします。これらが利用できない場合は、クラス 10 速度以上のほとんどの信頼できるメーカーのカード (SanDisk や Delkin など) を使用できます。同様に、信頼性の高い動作を保証するために、サウンド デバイスが承認した USB サムドライブのみを使用することを強くお勧めします。現在承認されているメディアはここでご覧いただけます。

すべてのメディアは exFAT としてフォーマットされます。メディアのフォーマットが異なる場合、MixPre はフォーマットのリマインダーを表示します。exFAT ファイル システムは、Windows XP または Mac OS X 10.6.4 以前とは互換性がありません。

Format SD Card

1. 背面パネルにあるスロットに SD カードを挿入します。
2. [SD カード] > [編集] > [フォーマット] に移動します。
3. カードをフォーマットするコマンドの確認を求められたら、「OK」をタッチします。

Format USB Thumbdrive

1. USB サムドライブを左パネルにある USB-A ポートまたは USB ハブに接続します。
2. [USB ドライブ] > [編集] > [フォーマット] に移動します。
3. カードをフォーマットするコマンドを確認し、[OK] をタッチします。

USB Auto-Copy

MixPre II は、USB-A ポートに直接挿入するか、USB ハブを使用すると、フォーマットされた USB-A サムドライブに自動コピーされます。録音を停止すると、最後に録音されたファイルがサムドライブに自動的にコピーされます。コピー中、処理が完了している間、MixPre-3 II および MixPre-6 II の録音ボタンと MixPre-10 II のリング LED が点滅します。完了率はステータス バーの右下隅にパーセンテージで表示されます。自動コピーの進行中に新しい録音を開始された場合、自動コピーは引き続き続行されます。



Interrupting USB Auto Copy With Power Cycle

コピー時間が長い場合は、自動コピーを一時的に停止することができます。停止モードでの自動コピー中に停止を押すか、電源スイッチをオフに切り替えると、次のポップアップが表示されます。

「USB 自動コピーを一時停止しますか？ 次に録音ボタンを押すとコピーが再開されます。わかりました、キャンセルします」

「OK」を押すと自動コピーが一時停止され、次に記録を押すとコピーが再開されます。

「キャンセル」を押すと、自動コピーは完了するまで続行され、スイッチがオフの場合は電源がオフになり、電源スイッチがオンの場合はアイドル状態になります。

MixPre II が自動コピーしている間は、USB ドライブと SD カードのメニューは利用できません。

Record – Basic Mode

Pre-Roll Time

プリロールは、録音ボタンが押される前に一定時間オーディオをキャプチャし、重要なオーディオを逃すことがありません。サンプルレートが増加すると、プリロール時間は減少します。48 kHz で最大 10 秒のプリロールを選択します。96 kHz では、プリロールは最大 5 秒に制限され、192 kHz では 2 秒に制限されます。プリロールは、録音実行モードまたは録音トリガーを使用している場合には使用できません。

REC Trigger

タイムコード、HDMI フラグ、または HDMI FUJIFILM フラグのいずれかから記録トリガーを設定します。デフォルトはオフです。

Record Bells

録音ベル通知を有効または無効にします。録音ベルはデフォルトでオンになっています。

Record – Advanced Mode

REC L, R

アーム L および/または R ミックスバス。オフ、オフ & リンク、L、R、L&R、L&R リンクから選択します。

L Gain

L ミックスのゲインを設定します。

Right Gain

R ミックスのゲインを設定します。Rec L,R Mix が LR Linked に設定されている場合、この設定は無効になります。

Sample Rate

内部サンプルレートと録音された WAV ファイルのサンプルレートを設定します。44.1 kHz、47.952 kHz、48 kHz、48.048 kHz、96 kHz、192 kHz から選択します。

タイムコード モードが HDMI TC In に設定されている場合、接続されたカメラが MixPre II のサンプルレートを決定します。

MixPre II をコンピューターのオーディオ インターフェイスとして使用する場合、サンプルレートはコンピューターによって決定されます。

BIT Depth

浮動小数点ビット深度を 16、24、32 から選択します。

Pre-Roll Time

プリロールは、録音ボタンが押される前に一定時間オーディオをキャプチャし、重要なオーディオを逃すことがありません。サンプルレートが増加すると、プリロール時間は減少します。48 kHz で最大 10 秒のプリロールを選択します。96 kHz では、プリロールは最大 5 秒に制限され、192 kHz では 2 秒に制限されます。プリロールは、録音実行モードまたは録音トリガーを使用している場合には使用できません。

REC Trigger

MixPre II は、トリガーされると録音を開始するように設定できます。録画トリガーを HDMI フラグに設定すると、互換性のあるデバイスが HDMI 入力経由で録画フラグを発行したときに録画が開始されます。MixPre II には 2 つの HDMI 録画トリガー オプションがあります。Sony、Panasonic、Nikon、Canon、Blackmagic カメラ用の HDMI フラグと、富士フイルム カメラ用の HDMI FUJIFILM フラグ。録音トリガーをタイムコードに設定すると、MixPre II が Aux または BNC 入力 (MixPre-10 II のみ) 経由で実行中の LTC タイムコードを検出したときに録音を開始されます。録音メニューで録音トリガーを設定します。録音トリガーが使用されている場合、プリロールは無効になります。

Remix

フェーダーノブでゲインを調整しながら、ファイルの再生と新しい L/R ミックスの録音を同時に行うことができます。録音をリミックスするには、[録音] メニューで [リミックス] をオンにします。ファイルリストからトラックが分離されているファイルを選択し、「リミックス」を選択します。

ヒント: リミックス/再録音で MixAssist を有効にすると、オーディオをクリーンアップし、既存の録音のバックグラウンド ノイズを軽減できます。

Left N.Asst (Plugin Required)

L ミックストラックの NoiseAssist サプレッションの量を設定します。0 dB (抑制なし) から -20 dB (最大抑制) まで 1 dB ステップで調整します。[システム] > [ノイズアシスト] メニューで [L] が選択されている場合にのみ使用できます。

Right N.Asst (Plugin Required)

R ミックストラックの NoiseAssist サプレッションの量を設定します。0 dB (抑制なし) から -20 dB (最大抑制) まで 1 dB ステップで調整します。このオプションは、[システム] > [ノイズアシスト] メニューで [R] が選択されている場合にのみ使用できます。

Record Bells

録音ベル通知を有効または無効にします。録音ベルはデフォルトでオンになっています。

File Split

Broadcast WAV File 規格に準拠するため、MixPre II で録音できるファイルの最大サイズは 4GB です。録音がこの制限を超えると、MixPre II は自動的に新しいファイルの録音を開始します。録音プロセスはシームレスです。つまり、音声を損なうことなく 2 つのファイルをポストで結合できます。

Timecode

タイムコードが有効になっている場合、ホーム画面の現在のファイル名の下にタイムコードが表示されます。標準タイムコードは HH:MM:SS:FF で表示されます。ドロップフレームのタイムコードは、秒フィールドとフレームフィールドの間にセミコロンを入れて表示されます (HH:MM:SS;FF)。

録音を押すたびに、現在のタイムコード値がブロードキャスト WAV ファイル内に保存されます。ほとんどの一般的なビデオ編集アプリケーションは、このタイムコード値を読み取り、音声と画像を同期することができます。

電源が切断されても、内蔵バッテリーは正確なタイムコードを最大 4 時間維持します。内部バッテリーの消耗によりタイムコード ジェネレーター (フリーランおよびタイム オブ デイ タイムコード モード) がリセットされると、アラートが発行されます。この内蔵バッテリーは、MixPre II の電源がオンになると自動的に充電されます。

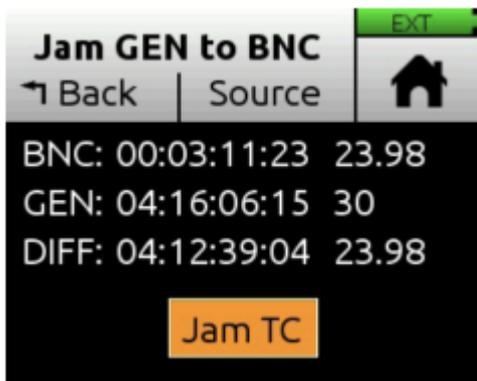
TC Mode

Free Run、Time of Day、Rec Run、BNC In (MixPre-10 II のみ)、Aux In 1、Aux In 2、HDMI TC In、HDMI FUJIFILM から選択します。

オフ。タイムコードに Aux In 1 または 2 を使用する場合は、必ず [Inputs] > [Aux In Mode] を [Timecode] に設定してください。

Frame Rate

23.98、24、25、29.97nd、29.97dF、30、30 dF から選択します。BNC、Aux、または HDMI In を使用する場合は、フレーム レートを設定する必要はありません。



Jam

MixPre を Free Run に設定し、フレーム レートをソースのフレーム レートに設定した状態で、「Source」をタップして、「BNC In」または「Aux TC」を選択します。「Jam TC」をタップしてタイムコードをジャムします。Diff = 00:00:00:00 の場合、ジャミングは成功しています。

Set TC

タイムコードを手動で設定します。

BNC In

MixPre-10 II のみ。BNC をタイムコードまたはワードクロックに設定します。

BNC Out

MixPre-10 II のみ。BNC をタイムコードまたはワードクロックに設定します。

注: MixPre-3 II および -6 II は、3.5 mm ステレオ出力コネクタ経由でタイムコードを出力できます。「出力」>「ステレオ出力モード」を参照してください。

Sync REF

MixPre-10 II のみ。BNC 入力または内部から選択します。BNC In が選択されている場合、MixPre-10 II は、BNC In に接続された外部タイムコードまたはワードクロック同期リファレンスに同期するように設定できます。

Set UBITS

上部の「モード」をクリックして UBits モードを編集します。メイン画面からヘッドフォン エンコーダーを押して、UBit の値を変更します。
矢印を使用するか、エンコーダーでスクロールして選択します。

電源を入れ直しても正確なタイムコード カウントを維持するには、電源投入時に MixPre が USB オーディオ インターフェイスとしてコンピューターに接続されていないことを確認してください。モードを切り替えた後 (ベーシック、アドバンスト、またはカスタム)、または再起動を必要とする設定変更後 (32 ビット フロート、MixAssist、音楽モード、またはアンビソニックス) にタイムコード デバイスを再ジャムすることがベスト プラクティスです。

Timecode Modes

Free Run

タイムコードは継続的に実行されます。タイムコードは電源オフ後も最大 4 時間正確にカウントし続けます。

REC Run

タイムコードは記録中に実行され、記録していないときは静止しています。このモードでは、タイムコードは電源投入時の最後の定常値にデフォルト設定されます。別のモードから Record Run に切り替えると、内部ジェネレーターは最後のタイムコード値で停止します。タイムコード出力は、タイムコード リモート トリガーをサポートする他の機器をトリガーして記録を開始および停止するために使用できます。

Time Of Day (TOD)

24 時間実行モードとも呼ばれるこれは、タイムコード ジェネレーターに時刻が自動的にロードされることを除いて、フリーラン モードに似ています。録音された WAV ファイルに内部時計によって生成された時刻をタイムコードとしてスタンプする場合は、TOD モードを使用します。

BNC In, AUX In 1, AUX In 2

タイムコードは、TC In BNC または 3.5 mm Aux/Mic In コネクタのチップまたはリングに接続された外部タイムコードから取得できます。

HDMI TC In

多くの DSLR スタイルのカメラは、HDMI 経由でタイムコードを出力します。HDMI ソースが接続されていない状態で HDMI TC In が選択されている場合、MixPre II は同期が失われたことを報告します。MixPre II には 2 つの HDMI タイムコード モードがあります。Sony、Panasonic、Nikon、Canon、Blackmagic カメラ用の HDMI フラグと、富士フイルム カメラ用の HDMI FUJIFILM フラグ。

LTC タイムコードは MixPre-3 II および MixPre-6 II には存在しません。

HDMI TC 入力使用時のステレオ出力または MixPre-10 II BNC 出力。

HDMI TC In に設定すると、接続されたカメラが MixPre II のサンプル レートを決定します。

OFF

TC モードをオフに設定すると、タイムコード機能が無効になります。オフの場合、ホーム画面のファイル名領域の下にあるタイムカウンターには、タイムコードの代わりに経過時間が表示されます。

Presets

MixPre II をさまざまな状況で使用する場合は、MixPre II のすべての設定のスナップショットを保存して呼び出すことができます。セットアップ ファイルは、SD カードまたは 4 つの内部プリセット スロットの 1 つに保存したり呼び出すことができます。[プリセット] メニューから MixPre II を工場出荷時のデフォルト設定に戻すこともできます。

Load

工場出荷時のデフォルト値またはユーザー プリセットを SD カードまたは 4 つの内部スロットからロードします。

Save to INT 1-4

現在の設定を内部スロット 1、2、3、または 4 に保存します。

Save to SD

現在の設定を SD カードに保存します。

Projects

New

カスタム プロジェクト名、または現在の日付に基づいたプロジェクト名を作成します。名前の長さは最大 18 文字です。

Open

必要なプロジェクトを選択します。これにより、選択したプロジェクトのファイルを含むファイル リストがロードされます。

Copy

USB-A ドライブにコピーするプロジェクトを選択します。

Trash Project

ゴミ箱に入れるプロジェクトを選択します。これにより、選択したプロジェクトとそのすべてのファイルが TRASH フォルダーに移動されます。このフォルダー内のプロジェクトにはコンピューターを使用してアクセスできます。SD カードの TRASH フォルダー内のプロジェクトは、コンピューターを使用するかカードをフォーマットすることで完全に削除できます。

Create Report

MixPre II には、アクティブなプロジェクトの .csv サウンド レポート ファイルを作成する機能が含まれています。これには、プロジェクト設定とそのすべての記録ファイルに関する役立つ説明情報が含まれています。これは、録音セッションのログとして、またはオーディオ ファイルと一緒にポストプロダクションやクライアントに送信できる電子レポートとして使用できます。CSV サウンド レポート ファイルは、オーディオ ファイルと一緒にアクティブなプロジェクトのフォルダーに保存され、次のような名前が付けられます：ActiveProjectName_Report.csv

Report Info

MixPre II は、サウンド レポートの説明的なヘッダー情報をカスタマイズして、プロデューサー、ディレクター、仕事、名前、場所、電話、電子メール、クライアントなどのさまざまなプロジェクトの詳細を含めることができます。画面上のボタンを使用して、各情報項目の詳細を入力します。仮想キーボード、USB キーボード。項目が空白の場合、レポート ファイルには含まれません。

File List – Basic Mode

To Access The File List

1. ホーム画面の上部にあるファイル名をタッチします。
2. ヘッドフォン エンコーダを使用して、アクティブなプロジェクト内のすべてのファイルの時系列リストをスクロールします。 リストの一番上の項目が次に記録されるファイルです。 そのすぐ下には最後に記録されたファイルまたは現在記録中のファイルがあり、その後以前に記録されたすべてのファイルが続きます。
3. [編集] を押すか、ヘッドフォン エンコーダを押して、各ファイルのサブメニューにアクセスします。

To Playback A File From The List

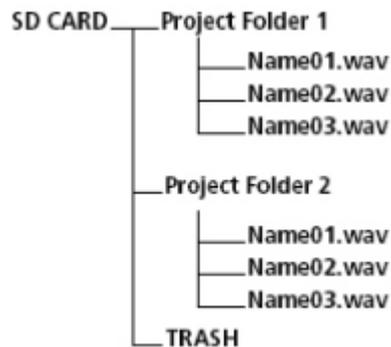
ファイルまでスクロールし、「再生」を押して再生します。

Name

ファイル名を編集します。

Number

ファイル番号を編集します。 新しいプロジェクトを作成すると、ファイル番号は 001 にリセットされます。



File List – Advanced Mode

To Access The File List

1. ホーム画面の上部にあるファイル名をタッチします。
2. ヘッドフォン エンコーダを使用して、アクティブなプロジェクト内のすべてのファイルの時系列リストをスクロールします。 リストの一番上の項目が次に記録されるファイルです。 そのすぐ下には最後に記録されたファイルまたは現在記録中のファイルがあり、その後以前に記録されたすべてのファイルが続きます。
3. [編集] を押すか、ヘッドフォン エンコーダを押して、各ファイルのサブメニューにアクセスします。

To Playback A File From The List

ファイルを選択し、再生を押して再生します。

Undo

Undo は、最後に録音されたファイルを SD カードの UNDO フォルダに移動し、次のファイルの番号をリセットします。 このフォルダ内のファイルにはコンピューターを使用してアクセスできます。

Name, Num, Notes

ファイルの名前と番号を編集し、詳細モードでメモを作成します。 新しいプロジェクトを作成すると、ファイル番号は 001 にリセットされます。

Track Names

ファイル内のトラック名を編集します。

Rename

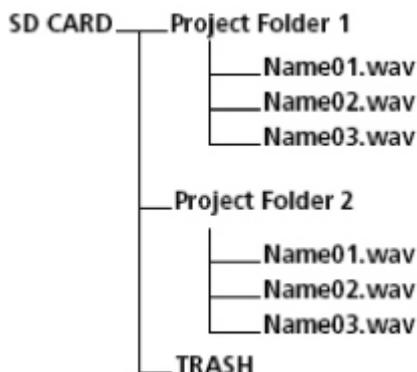
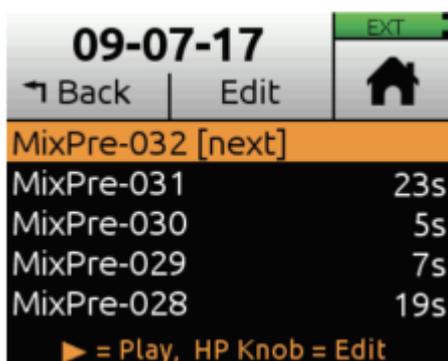
ファイルの名前と番号を変更します。

Trash File

ファイルを削除します。

Cue List

録音または再生中に追加されたすべてのキューマークのリストを表示します。 このリスト上のキュー マークに名前を付け、移動、削除します。



Cue Marks

キュー マークを使用すると、ファイル内の関心のあるポイントを簡単にすばやく見つけることができます。ファイルごとに最大 99 個のキューが許可されます。キューはキューリストに番号順に表示されます。

Add A Cue Mark

1. 録音中、再生中、または一時停止中に、 をタップして頭出しマークを追加します。Q アイコンはホーム画面の上部にあります。Q アイコンの横には、キューマーク番号（01 から始まり、新しいキューマークが追加されるたびに増加します）が表示されます。
2. MixPre は、既存のキュー マークの間にキュー マークを挿入すると、自動的にキュー マークの番号を付け直します。これにより、キュー マーカーが最初から最後まで昇順の番号順（01、02、03 など）に維持されます。

Access The Cue List

1. タップします。
2. ヘッドフォンノブを使用してファイルを選択します（またはファイルをハイライト表示して「編集」をタップします）。
3. 「編集」メニューから「キューリスト」をタップします。
4. キューは再生、名前付け、移動、または削除できます。



Playback From A Cue Mark

1. キューリストから、ヘッドフォンノブを使用してキューをハイライト表示します。
2. 再生を押します。

Name A Cue Mark

1. キューリストから、ヘッドフォンノブを使用してキューマークを選択します。
2. 「名前」をタップします。
3. 新しい名前を入力し、「OK」をタップします。



Move A Cue Mark

キューマークの位置を 0.1 秒単位で微調整できます。

1. キューリストから、ヘッドフォンノブを使用してキューマークを選択します。
2. 「移動」をタップします
3. ヘッドフォンノブを回して、選択を 0.1 秒単位で調整します。
4. ヘッドフォンノブを押して、新しいキュー位置を保存します。

Delete A Cue Mark

1. キューリストから、ヘッドフォンノブを使用してキューマークを選択します。
2. 「削除」をタップします。

Using Star Shortcuts (*/**)

MixPre-6 II

利便性のために、フロントパネルにプログラム可能なボタンが組み込まれています。これにより、メニューを移動することなく、頻繁に使用する機能にハードウェア ショートカットを割り当てることができます。*ボタンメニューで*ボタンをプログラムします。

MixPre-10 II

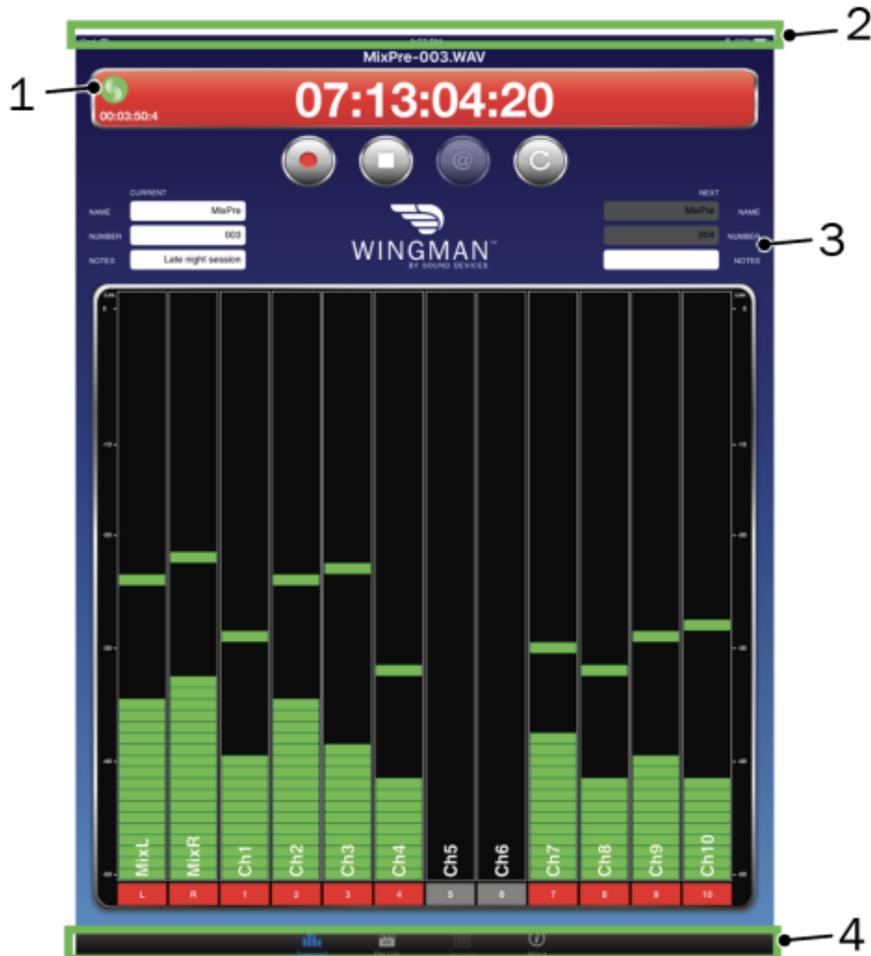
利便性を考慮して、フロント パネルに 2 つの位置でプログラム可能なトグル スイッチが組み込まれています。これにより、ハードウェア ショートカットを頻繁に使用する機能専用にすることができます。*ショートカットメニューで*と** スイッチをプログラムします。

PROGRAMMABLE FUNCTIONS

1. Ch 5/6 Screen Toggle (MixPre-6 II)
2. Ch 9/10 Screen (MixPre-10 II)
3. Solo/Mute screen
4. Project screen
5. SD Card screen
6. Undo
7. Slate Mic
8. Tone
9. Q
10. St Out Mute (MixPre-6 II)
11. L/R Mute (MixPre-10 II)
12. X1/X2 Mute (MixPre-10 II)

Wingman Application

Sound Devices Wingman は、iOS または Android デバイスから Bluetooth Smart 対応 MixPre シリーズのワイヤレス リモート コントロールを可能にする無料アプリです。

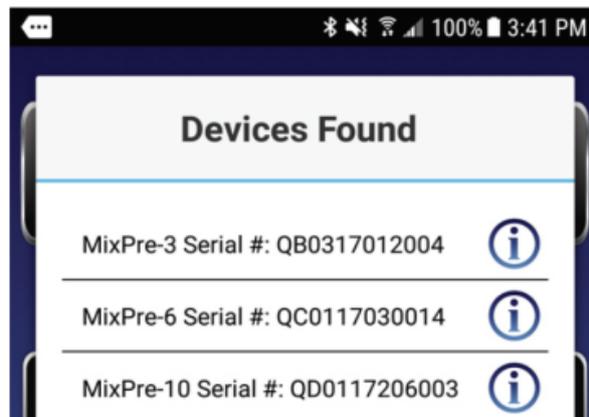


1: Connection Icon

接続アイコンをタップすると、アプリ内からあるデバイスから別のデバイスに接続を効率的に切り替えることができます。Circled-I アイコンをタップすると、選択したレコーダーの画面に「Wingman から識別中」というメッセージが表示され、リストされた MixPre を識別するのに役立ちます。

Connection Icon Status Colors

Gray		Disconnected - either no activity or scanning for devices
Orange		Bluetooth connection in progress
Yellow		Connected - authentication underway
Green		Connected and authenticated



2: Status Bar

3: Viewing Area

小型のデバイスでは、表示領域にトランスポート ビューとトラック ビューが表示されます。 水平にスワイプしてビューを切り替えます。 大型のデバイスでは、表示領域にはトランスポート ビューのみが表示されます。

4: Tab Bar

Transport View

コントロール ボタン、メタデータ フィールド、およびメーターを表示します。 垂直にスワイプすると、他のメーターに切り替わります。 大型のデバイスでは、トラックの準備と名前付けはトランスポート ビューで行われます。

Track View

小型デバイスでは、トラックの設定と名前付けはトラック ビューで行われます。



Renaming Tracks

1. 大型のモバイル デバイスでは、トランスポート ビューから、編集したいトラックの垂直メーター内の任意の場所をタップします。
2. 小型モバイル デバイスでは、水平にスワイプしてトラック ビューを表示し、編集するトラックの水平メーター内の任意の場所をタップします。
3. 仮想オンスクリーン キーボードを使用してトラック名を変更します。
4. 完了したら「完了」をタップして変更を保存します。
5. 変更を保存せずに終了するには、キーボード以外の画面上の任意の場所をタップします。

Arming/Disarming Tracks

1. メーターのラベルをタップします。武装するとラベルが赤くなります。オンでも解除されている場合、ラベルは灰色になります。入力がオフの場合、ラベルは黒くなり、アーミングできません。
2. チャンネルがリンクされているときを示すために、メーターのラベルが結合されます (単一のラベルとして表示されます)。

ENABLE BLUETOOTH ON THE MIXPRE

これにより、Bluetooth のオンとオフが切り替わります。レコーダーの [システム] > [Wingman パスワード] メニューでリモート パスワードが設定されている場合、Wingman は接続する前にそのパスワードの入力を求めます。

Set And Clear The Wingman Password

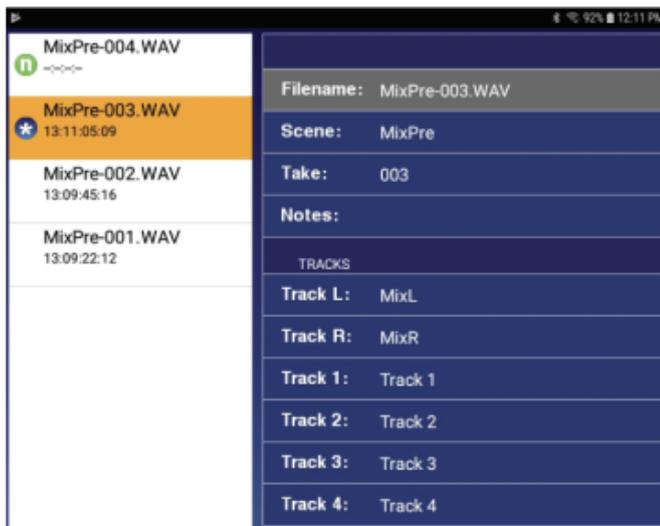
セキュリティを強化するには、リモート アクセスにパスワードを要求するように MixPre レコーダーを設定します。仮想キーボードまたは USB キーボードを使用して、最大 18 文字の英数字のパスワードを入力します。ハイフンまたはアンダースコア以外の句読点は使用できません。

File List Tab

MixPre ファイルとその埋め込み BWF/iXML メタデータは、[ファイル リスト] タブで表示および編集できます。

Sound Report

サウンド レポートを作成し、Wingman から CSV ファイルとして直接送信できます。



SOUND REPORT OPTIONS	
Email:	<input checked="" type="checkbox"/>
Email To:	production@website.com
SOUND REPORT INFO	
Producer:	G. Smith
Director:	A. Smithee
Job:	Location Sound
Location:	Beac
Sound Mixer:	J. Jones
Phone:	8888339701
E-Mail:	person@website.com
Client:	TV Network
Boom Op:	K. Williams
Prod.Co:	Production
Prod.Co Tel:	6886338888
Comments:	Outdoor Shoot

USB Hub

MixPre II は、USB ハブを介して、USB サム ドライブ、MIDI コントローラー、USB キーボードなどの複数の USB デバイスをサポートします。

USB ハブのサポートを最大限に活用するには、次の点に注意してください。

適切な電流を供給できる電源付きハブをお勧めします。

電力が供給されていないハブを使用する場合は、3 つを超える低電力デバイスを接続しないでください。

各 USB デバイスを一度に接続するのではなく、個別に接続します。
3 つのデバイスすべてのピーク電流が同時に供給されると、電源の最大ピーク電流を超える可能性があります。

デバイスがランダムに取り外される場合、接続されているすべてのデバイスに電力を供給するのに十分な電流がありません。1 つ以上のデバイスを取り外すか、電源付きハブを使用します。

USB-A サポート (ハブの有無にかかわらず) は、MixPre が低電力モードではなく完全に電力供給されている場合にのみ利用可能です。

一度に使用できる USB コントローラーは 1 つだけです。

一度に使用できる USB ドライブは 1 つだけです。

MixPre 3 II または 6 II で電源のないハブを使用する場合は、L マウント バッテリー、4 ピンのヒロセ DC アダプター (例: Hawkwoods 製)、USB-C ウォール アダプター、または USB-C バッテリー パック (例: Anker または Ravpower から)。コンピューターの USB-C は、電源が供給されていない USB ハブに接続されているすべての USB デバイスを動作させるのに十分な電力を供給できない場合があります。

USB-A ポートは、単三電池から電力が供給されている場合、ハブをサポートしません。
USB-C 電源から電力を供給する場合は、できれば 1 メートル以下の高品質 USB-C to C ケーブルを使用してください。低品質の USB-C ケーブルを使用すると、不安定な動作が発生する可能性があります。

USB Keyboard

接続された USB キーボードは、特定の機能の有線リモコンとして使用できます。キーボード機能を 0.5 秒以上押し続けると、ショートカット操作が繰り返されます。

Keystroke	Description
Escape	Back. Also cancels out of editing mode when virtual keyboard is on screen
F1 or Menu key	Accesses the Main menu
F12	Home
F2	File list
F3	Cycles between available Meters views and the Main screen
Ctrl + R	Record
Ctrl + S	Stop
Spacebar	Play
Left Arrow	Main screen: Rewind Menu and Channel screens: Toggles through pages
Right Arrow	Main screen: Fast forward Menu and Channel screens: Toggles through pages
Up / Down Arrows	Main screen: Adjusts headphone volume In menus: Duplicates encoder rotation, such as moves highlight, scrolls list While editing parameters: Changes the value
Enter	In menus: Activates current selection. (Same as encoder press.) Also, same as choosing OK when virtual keyboard is on screen
Q	In menus: select top left option in quad button view
W	In menus: select top right option in quad button view MixPre-10 II: Top Center
A	In menus: select bottom left option in quad button view
S	In menus: select bottom right option in quad button view MixPre-10 II: Bottom Center
E	MixPre-10 II menu: Top Right
D	MixPre-10 II menu: Bottom Right
1-0	Channel screen for 1-10
*	Toggles assigned * Shortcut Action
Ctrl + M	Add cue mark
Ctrl + F	File transfer mode
Ctrl + 1-0	Toggle Arm status of Channels 1-10
Option + 1-0	Solo Channels 1-10
Ctrl + Option + 1-0	Mute Channels 1-10
1 + 2 + 3	Front Panel Lock Menu

X-Keys Programmable Keypads

X キーには、USB キーボード コマンドをエミュレートするようにプログラムできるさまざまなコンパクトな触覚入力デバイスが含まれています。さまざまなボタンと触覚コントロールは P.I. 経由でプログラムされています。Engineering の MacroWorks Windows ソフトウェア。個々のコマンドとして、またはマクロ コマンドとして上記の MixPre の USB キーボード ショートカットにマップすると、録音、停止、再生などを含む多くの MixPre 機能にすばやくアクセスできます。

MixPre で使用するには、X-Keys デバイスを MixPre の USB-A ポートに接続する必要があります。

P.I にアクセスしてください。詳細については、エンジニアリングの Web サイトを参照してください。

USB Controllers

MixPre II シリーズは、ミキシングと録音を触覚的に制御するために、選択したサードパーティ製コントローラーに接続できます。これらのコントロール サーフェスには、フェーダー レベル、トリム ゲイン、パン、リバーブ センド、ソロ、ミュート、レコード アーミング、トランスポート コントロールなどを設定するための、さまざまな物理スライダー、ポット、ボタンが用意されています。機能はコントローラーのモデルによって異なります。MixPre II に接続すると、一部の機能がコントローラーに引き継がれるため、MixPre II では無効になります。

Compatible Recorders

1. Korg NanoKontrol Studio
2. Korg NanoKontrol 2
3. Novation LaunchControl XL
4. AKAI MidiMix

Connecting The Mixpre To A Controller

電源と制御は 1 本の USB ケーブルで提供され、MixPre とコントローラー間の簡単な接続が容易になります。MixPre-3 II および -6 II の場合、USB コントローラーは MixPre に適切な電力が供給されている場合にのみ機能します。

1. MixPre の電源は、USB 接続前にオンにすることも、USB 接続後にオンにすることもできます。
2. USB ケーブルの一端を MixPre の USB-A ポートに接続し、もう一端をコントローラーの USB ポートに接続します。コントローラーのモデルに応じて、USB-B、Micro USB、または Mini USB ポートを使用できます。コントローラーに付属の USB ケーブルの使用を推奨します。
3. ポップアップ画面にコントローラーのモデルが表示されます。構成を数秒行くとポップアップが閉じ、コントローラーを使用できるようになります。

Map User-Definable Buttons To Functions

1. コントローラーを接続します。
2. MixPre で、メニュー > * ショートカット > コントロール サーフেসにアクセスします。
3. ユーザー定義可能なショートカット ボタンのいずれかを、以下にリストされている割り当て可能な機能に設定します。

Assignable Functions

1. Tone
2. L/R Mute
3. X1/X2 Mute
4. Undo
5. Slate Mic
6. Add Q
7. Record
8. Stop
9. Play
10. Rewind
11. Fast Fwd
12. Shuttle (not all controllers)



AKAI MidiMix



Korg NanoKontrol 2



Korg NanoKontrol Studio



Novation LaunchControl XL

Akai MidiMix

Function	Action
Fader Bank Switching	--
User-Definable Shortcut Buttons	Solo + Bank Left Solo + Bank Right
Record	via user-definable shortcut
PLAY	via user-definable shortcut
STOP	via user-definable shortcut
FFWD X2, X16	via user-definable shortcut
RWD X2, X16	via user-definable shortcut
Skip Next File	via user-definable shortcut (Tap Fast Forward)
Skip Prev File	via user-definable shortcut (Tap Rewind)
Skip Next Mark	via user-definable shortcut (Fast Forward)
Skip Prev Mark	via user-definable shortcut (Rewind)
Return to Zero	via user-definable shortcut (Stop)
Shuttle	Only via MixPre
Record Arm	REC Arm button
Record Arm Status	Red REC Arm button when armed
Input Monitor	--
Input Monitor Status	--
Channel Screen Access	Solo + REC Arm buttons
Faders	Linear faders 1-8
Trims	Top row knobs
Pans	Bottom row knobs
Reverb	--
Low Cut	Middle row knobs
Mute	Mute button
Solo	Solo + Mute buttons
Mute Status	Yellow Mute button
Solo Status	Yellow Mute button when Solo is pressed
L/R (Stereo) Output Gain	Master fader
L/R (Stereo) Output Mute	via user-definable shortcut
X1/X2 Mute (10 II only)	via user-definable shortcut
Tone	via user-definable shortcut
Metronome	--
Create Q	via user-definable shortcut
Undo	via user-definable shortcut
Internal Mic (10 II only)	via user-definable shortcut
SEND ALL Button	Sends all current fader, knob settings to MixPre

Korg NanoKontrol 2

Function	Action
Fader Bank Switching	--
User-Definable Shortcut Buttons	Cycle + Marker Set Cycle + Marker < Cycle + Marker > Cycle + << Cycle + >>
Record	Record button
PLAY	Play button
STOP	Stop button
FFWD X2, X16	Hold >> button
RWD X2, X16	Hold << button
Skip Next File	Tap >> button
Skip Prev File	Tap << button
Skip Next Mark	Tap >> button
Skip Prev Mark	Tap << button
Return to Zero	Tap Stop
Shuttle	Only via MixPre
Record Arm	R button
Record Arm Status	Red R button when armed
Input Monitor	--
Input Monitor Status	--
Channel Screen Access	Cycle + S button
Faders	Linear faders 1-8
Trims	Rotary knobs (set to trim)
Pans	Rotary knobs (set to pan)
Reverb	--
Low Cut	Rotary knobs (set to low-cut)
Mute	M button
Solo	S button
Mute Status	Red M button
Solo Status	Red S button
L/R (Stereo) Output Gain	Only via MixPre
L/R (Stereo) Output Mute	via user-definable shortcut
X1/X2 Mute (10 II only)	via user-definable shortcut
Tone	via user-definable shortcut
Metronome	--
Create Q	Marker Set button
Undo	via user-definable shortcut
Internal Mic (10 II only)	via user-definable shortcut

Korg NanoKnotrol Studio

Function	Action
Fader Bank Switching	--
User-Definable Shortcut Buttons	Cycle + Marker Set Cycle + Marker < Cycle + Marker > Cycle + << Cycle + >>
Record	Record button
PLAY	Play button
STOP	Stop button
FFWD X2, X16	Hold >> button
RWD X2, X16	Hold << button
Skip Next File	Tap >> or Marker >button
Skip Prev File	Tap << or Marker < button
Skip Next Mark	Tap >> or Marker >button
Skip Prev Mark	Tap << or Marker < button
Return to Zero	Tap < or Stop
Shuttle	Press MixPre HP encoder or set Shuttle as a shortcut, then use selected shortcut and scrub wheel.
Record Arm	REC Arm button
Record Arm Status	White REC Arm button when armed
Input Monitor	--
Input Monitor Status	--
Channel Screen Access	Select button
Faders	Linear faders 1-8
Trims	Scene 1 then use knobs
Pans	Scene 3 then use knobs
Reverb	--
Low Cut	Scene 2 then use knobs
Mute	Mute button
Solo	Solo button
Mute Status	White Mute button
Solo Status	White Solo button
L/R (Stereo) Output Gain	Only via MixPre
L/R (Stereo) Output Mute	via user-definable shortcut
X1/X2 Mute (10 II only)	via user-definable shortcut
Tone	via user-definable shortcut
Metronome	--
Create Q	Marker Set button
Undo	via user-definable shortcut
Internal Mic (10 II only)	via user-definable shortcut

Novation LaunchControl XL

Function	Action
Fader Bank Switching	--
User-Definable Shortcut Buttons	UP DOWN Device + UP Device + Down Device + Left Device + Right
Record	via user-definable shortcut
PLAY	via user-definable shortcut
STOP	via user-definable shortcut
FFWD X2, X16	via user-definable shortcut
RWD X2, X16	via user-definable shortcut
Skip Next File	via user-definable shortcut
Skip Prev File	via user-definable shortcut
Skip Next Mark	via user-definable shortcut
Skip Prev Mark	via user-definable shortcut
Return to Zero	via user-definable shortcut (Stop)
Shuttle	Only via MixPre
Record Arm	Select Record Arm, then Track Control button
Record Arm Status	Red Track Control button when Record Arm is selected
Input Monitor	--
Input Monitor Status	--
Channel Screen Access	Track Focus buttons
Faders	Linear faders 1-8
Trims	Top row of knobs
Pans	Bottom row of knobs
Reverb	--
Low Cut	Middle row of knobs
Mute	Select Mute, then Track Control button
Solo	Select Solo, then Track Control button
Mute Status	Red Track Control button when Mute is selected
Solo Status	Flashing Track Control button when Solo is selected
L/R (Stereo) Output Gain	Only via MixPre
L/R (Stereo) Output Mute	via user-definable shortcut
X1/X2 Mute (10 II only)	via user-definable shortcut
Tone	via user-definable shortcut
Metronome	--
Create Q	via user-definable shortcut
Undo	via user-definable shortcut
Internal Mic (10 II only)	via user-definable shortcut

Mouting to a Camera or Tripod

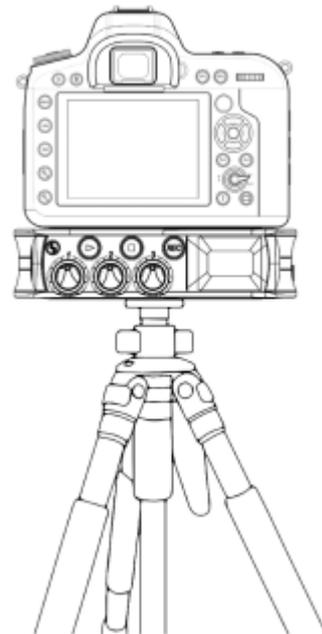
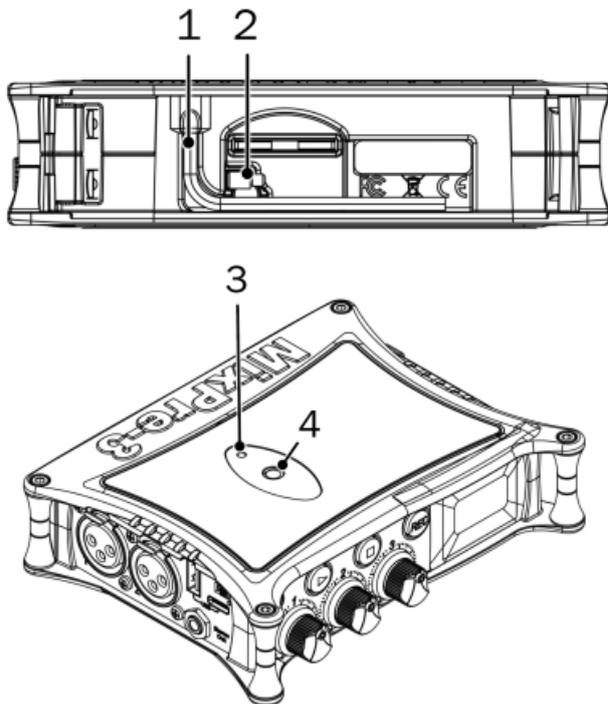
すべての MixPre II シリーズ レコーダーには、ギアに取り付けるための 1/4 インチ、20 ネジのネジ マウントが上部パネルと下部パネルにあります。

To attach your MixPre II between a camera and tripod:

1. バッテリースレッドを取り外して、背面パネルにアクセスできるようにします。
2. 回り止めピンと六角レンチを取り出します。 どちらも
3. バックパネルの所定の位置に磁気的に保持されます。
4. MixPre II の底部パネルから、六角レンチを取り付けネジ穴に挿入し、押し上げると格納式ネジが現れます。
5. ネジを回転させて、MixPre II をカメラの下の所定の位置に取り付けます。
6. MixPre II の底面パネルの取り付けネジ穴と三脚プレートとのネジの位置を合わせます。 三脚プレートのネジを回して、MixPre II を固定します。

カメラに回転防止ピン用のスロットがある場合は、ピンを MixPre II の上部の所定の位置にねじ込み、ピンがカメラのスロットに収まるように MixPre II をカメラの底部に配置します。 回転防止ピンを三脚にねじ込んで、MixPre II の底部に差し込むこともできます。

- 1: 六角レンチ
- 2: 回転防止ピン
- 3: 回り止めピン用ネジ穴
- 4: 格納式ネジ



MixPre-3 Ii Specifications

Specifications are subject to change without prior notice.

For the latest information available on all Sound Devices products, visit our website: www.sounddevices.com.

Frequency Response

10 Hz to 80 kHz +/- 0.5 dB re 1 kHz @ 192 kHz sample rate

THD + Noise

0.005% max (@1 kHz, 22-22 kHz BW, gain= 20 dB, -10 dBu in)

ADC*

32 bit precision; 142 dB dynamic range min (A weighted, gain = 10 dB, fader = 0 dB)

Equivalent Input Noise

-130 dBV (-128 dBu) max (A-weighting, gain = 76 dB, 150 ohm source impedance)

Inputs

Mic: XLR active-balanced; 4k input

Line: XLR active-balanced; 4k input

Aux/Mic in: 3.5 mm TRS, 2-channel unbalanced; 2.2k

USB Audio: 2 channels

5 Total analog inputs: 3 mic-line inputs, 2 on Aux In

All inputs fully RF-filtered and overload protected

Gain

Mic input: +6 dB to +76 dB

Line input: -20 dB to +30 dB

Fader: -inf to +20 dB

Headphone: -inf to +20 dB

Total, Mic-to-recording (max): +96 dB

Aux In (Mic): Gain = +10 dB to +40 dB

Aux In (Line): Gain = -10 dB to +20 dB

Total Aux Gain including Fader (Mic-to-recording): +60 dB

Maximum Input Level

Mic XLR: +14 dBu (limiters on or off)

Line XLR/¼-inch: +28 dBu (limiters on or off)

Aux In (Mic): -10 dBu

Aux In (Line): +10 dBu

Low-Cut Filters

40 Hz to 160 Hz (adjustable), 18 dB/oct. First stage analog, subsequent stages digital

Limiters (16- and 24-bit operation only)

Limiter at all gain stages, range > 40 dB

First stage analog, subsequent stages digital

Adjustable threshold, ratio, and release

Microphone Powering

Mic XLRs: 48 V via 6.8k resistors, 10 mA each

Mic 3.5 mm: 3 V @ 3k source

Outputs

3.5 mm TRS stereo unbalanced, 500 ohm output impedance, +7.8 dBu max output level

Headphone Outputs

3.5 mm TRS stereo unbalanced, 300 mW + 300 mW, for use with any impedance headphones

DAC Feeding Stereo Out, Headphone Out

32 bit precision; 115 dB dynamic range (A-weighted)

USB

Audio Interface (USB-C): 6-in/2-out (from computer); 44.1 kHz/48 kHz/96 kHz; 16/24/32-bit integer, 32-bit float; Class-compliant USB 2.0 high speed driver

Mass Storage (USB-C): USB 2.0 high speed

Keyboard, X-Keys (USB-A): Text entry and control

Thumbdrive (USB-A): Manual or auto-copy to drive

Midi Control Surface (USB-A)

USB Hub

Recording

5 Tracks: stereo mix + 3 ISO's. Can be expanded to 7 tracks with the optional +2ch plugin.

44.1 kHz, 47.952 kHz, 48 kHz, 48.048 kHz, 96 kHz, 192 kHz sampling frequencies

16, 24, 32 float bit depths

Polyphonic WAV

Recording Storage

Type: SD, SDXC, SDHC Card, & USB thumbdrive (copy only)

Max Storage Size: 512 GB (SDXC)

Card format: exFAT

File Delivery to Cloud

Compatible with Viviana Cloud

Timecode

Modes: Free Run, Time of Day (file stamped w/current ToD), Rec Run, Ext LTC (file stamped w/incoming LTC on 3.5mm Aux In),

Camera TC (file stamped w/incoming TC from cameras that output TC)

Frame Rates: auto-detects (fps): 23.98 (same as 23.976), 24, 25, 29.97DF, 29.97ND, 30, 30DF

3.5 mm Aux In Timecode Input: 20k ohm impedance, 0.3 V - 3.0 V p-p (-17 dBu - +3 dBu)

3.5 mm Stereo Out Timecode Output: 1k ohm impedance, 3.0V p-p (+12 dBu)

TC Reader via HDMI

Power

AA Batteries: 4x AA sled (included); 8x AA sled (optional accessory). Energizer Ultimate Lithium recommended

L-Mount: Optional sled for 2x (hot-swappable) Li-ion batteries

From computer: Bus-powered via USB-C port optional MX-USBY cable, connects one USB-C to two USB-A ports

AC Adapter: MX-PSU (included) Power supply wall adapter w/ USB-C connector; 15 W; has 4 adapter plugs for US, UK, AU & Europe

Remote Control

Bluetooth LE: Wireless control using Wingman app

HDMI (micro): Auto-record start/stop trigger from cameras with output record flag over HDMI

Timecode: Auto-record start/stop trigger via Aux In timecode

Environmental

Operating: -20°C to 60°C, 0 to 90% relative humidity; (non-condensing)

Storage: -40°C to 85°C

Dimensions and Weight

36 mm x 144 mm x 110 mm (H x W x D); 1.40" x 5.68" x 4.35"

Weight: .48 kg; 16.8 oz. (unpacked, without batteries)

Touch Screen: 320x256; 1.6-inch, color, sunlight-viewable IPS LCD

*patents #US9654134B2 (USA), #CA2973142C (Canada), and #EP3259845 (Europe)

MixPre-6 Ii Specifications

Specifications are subject to change without prior notice.

For the latest information available on all Sound Devices products, visit our website: www.sounddevices.com.

Frequency Response

10 Hz to 80 kHz +/- 0.5 dB re 1 kHz @ 192 kHz sample rate

THD + Noise

0.005% max (@1 kHz, 22-22 kHz BW, gain= 20 dB, -10 dBu in)

ADC*

32 bit precision; 142 dB dynamic range min (A weighted, gain = 10 dB, fader = 0 dB)

Equivalent Input Noise

-130 dBV (-128 dBu) max (A-weighting, gain = 76 dB, 150 ohm source impedance)

Inputs

Mic: XLR active-balanced; 4k input

Line: XLR active-balanced; 4k input

Aux/Mic in: 3.5 mm TRS, 2-channel unbalanced; 2.2k

Line: ¼-inch TRS active-balanced; 4k input

USB Audio: 4 channels

6 Total analog inputs: 4 mic-line inputs, 2 on Aux In

All inputs fully RF-filtered and overload protected

Gain

Mic input: +6 dB to +76 dB

Line input: -20 dB to +30 dB

Fader: -inf to +20 dB

Headphone: -inf to +20 dB

Total, Mic-to-recording (max): +96 dB

Aux In (Mic): Gain = +10 dB to +40 dB

Aux In (Line): Gain = -10 dB to +20 dB

Total Aux Gain including Fader (Mic-to-recording): +60 dB

Maximum Input Level

Mic XLR: +14 dBu (limiters on or off)

Line XLR/¼-inch: +28 dBu (limiters on or off)

Aux In (Mic): -10 dBu

Aux In (Line): +10 dBu

Low-Cut Filters

40 Hz to 160 Hz (adjustable), 18 dB/oct. First stage analog, subsequent stages digital

Limiters (16- and 24-bit operation only)

Limiter at all gain stages, range > 40 dB

First stage analog, subsequent stages digital

Adjustable threshold, ratio, and release

Microphone Powering

Mic XLRs: 48 V via 6.8k resistors, 10 mA each

Mic 3.5 mm: 3 V @ 3k source

Outputs

3.5 mm TRS stereo unbalanced, 500 ohm output impedance, +7.8 dBu max output level

Headphone Outputs

3.5 mm TRS stereo unbalanced, 300 mW + 300 mW, for use with any impedance headphones

DAC Feeding Stereo Out, Headphone Out

32 bit precision; 115 dB dynamic range (A-weighted)

USB

Audio Interface (USB-C): 8-in/4-out; 44.1 to 96 kHz; 16/24/32-bit integer, 32-bit float; Class-compliant USB 2.0 high speed or ASIO® (supplied via download)

Mass Storage (USB-C): USB 2.0 high speed

Keyboard, X-Keys (USB-A): Text entry and control

Thumbdrive (USB-A): Manual or auto-copy to drive

Midi Control Surface (USB-A)

USB Hub

Recording

8 Tracks: stereo mix + 6 ISOs

44.1 kHz, 47.952 kHz, 48 kHz, 48.048 kHz, 96 kHz, 192 kHz sampling frequencies

16, 24, 32 float bit depths

Polyphonic WAV

Recording Storage

Type: SD, SDXC, SDHC Card, & USB thumbdrive (copy only)

Max Storage Size: 512 GB (SDXC)

Card format: exFAT

File Delivery to Cloud

Compatible with Viviana Cloud

Timecode

Modes: Free Run, Time of Day (file stamped w/current ToD), Rec Run, Ext LTC (file stamped w/incoming LTC on 3.5mm Aux In),

Camera TC (file stamped w/incoming TC from cameras that output TC)

Frame Rates: auto-detects (fps): 23.98 (same as 23.976), 24, 25, 29.97DF, 29.97ND, 30, 30DF

3.5 mm Aux In Timecode Input: 20k ohm impedance, 0.3 V - 3.0 V p-p (-17 dBu - +3 dBu)

3.5 mm Stereo Out Timecode Output: 1k ohm impedance, 3.0V p-p (+12 dBu)

TC Reader via HDMI

Power

AA Batteries: 4x AA sled (included); 8x AA sled (optional accessory). Energizer Ultimate Lithium recommended

L-Mount: Optional sled for 2x (hot-swappable) Li-ion batteries

From computer: Bus-powered via USB-C port: optional MX-USBY cable, connects one USB-C to two USB-A ports

AC Adapter: MX-PSU (included) Power supply wall adapter w/ USB-C connector; 15 W; has 4 adapter plugs for US, UK, AU & Europe

Remote Control

Bluetooth LE: Wireless control using Wingman app

HDMI (micro): Auto-record start/stop trigger from cameras with output record flag over HDMI

Timecode: Auto-record start/stop trigger via Aux In timecode

Environmental

Operating: -20°C to 60°C, 0 to 90% relative humidity; (non-condensing)

Storage: -40°C to 85°C

Dimensions and Weight

36mm x 166 mm x 118 mm (H x W x D); 1.40" x 6.53" x 4.65"

Weight: .56 kg; 19.9 oz. (unpacked, without batteries)

Touch Screen: 320x256; 1.6-inch, color, sunlight-viewable IPS LCD

*patents #US9654134B2 (USA), #CA2973142C (Canada), and #EP3259845 (Europe)

MixPre-10 II Specifications

Specifications are subject to change without prior notice.

For the latest information available on all Sound Devices products, visit our website: www.sounddevices.com.

Frequency Response

10 Hz to 80 kHz +/- 0.5 dB re 1 kHz @ 192 kHz sample rate

THD + Noise

0.005% max (@1 kHz, 22-22 kHz BW, gain= 20 dB, -10 dBu in)

ADC*

32 bit precision; 142 dB dynamic range min (A weighted, gain = 10 dB, fader = 0 dB)

Equivalent Input Noise

-130 dBV (-128 dBu) max (A-weighting, gain = 76 dB, 150 ohm source impedance)

Inputs

Mic: XLR active-balanced; 4k input

Line: XLR active-balanced; 4k input

Aux/Mic in: 3.5 mm TRS, 2-channel unbalanced; 2.2k

Line: ¼-inch TRS active-balanced; 4k input

USB Audio: 4 channels

Built-in Slate Mic

10 Total analog inputs: 8 mic-line inputs, 2 on Aux In

All inputs fully RF-filtered and overload protected

Gain

Mic input: +6 dB to +76 dB

Line input: -20 dB to +30 dB

Fader: -inf to +20 dB

Headphone: -inf to +20 dB

Total, Mic-to-recording (max): +96 dB

Aux In (Mic): Gain = +10 dB to +40 dB

Aux In (Line): Gain = -10 dB to +20 dB

Total Aux Gain including Fader (Mic-to-recording): +60 dB

Built-in Slate Mic: 0 dB to 50 dB

Maximum Input Level

Mic XLR: +14 dBu (limiters on or off)

Line XLR/¼-inch: +28 dBu (limiters on or off)

Aux In (Mic): -10 dBu

Aux In (Line): +10 dBu

Low-Cut Filters

40 Hz to 160 Hz (adjustable), 18 dB/oct. First stage analog, subsequent stages digital

Limiters (16- and 24-bit operation only)

Limiter at all gain stages, range > 40 dB

First stage analog, subsequent stages digital

Adjustable threshold, ratio, and release

Microphone Powering

Mic XLRs: 48 V via 6.8k resistors, 10 mA each

Mic 3.5 mm: 3 V @ 3k source

Outputs

L/R: TA3 2-channel balanced, 1.1K max output impedance, +18 dBu max output level

X1/X2: 3.5 mm TRS stereo unbalanced, 500 ohm output impedance, +7.8 dBu max output level

Headphone Outputs

3.5 mm TRS stereo unbalanced, 300 mW + 300 mW, for use with any impedance headphones

DAC Feeding Stereo Out, Headphone Out

32 bit precision; 115 dB dynamic range (A-weighted)

USB

Audio Interface (USB-C): 12-in/4-out; 44.1 to 96 kHz; 16/24/32-bit integer, 32-bit float; Class-compliant USB 2.0 high speed or ASIO® driver (supplied via download)

Mass Storage (USB-C): USB 2.0 high speed

Keyboard, X-Keys (USB-A): Text entry and control

Thumbdrive (USB-A): Manual or auto-copy to drive

Midi Control Surface (USB-A)

USB Hub

Recording

12 Tracks: Stereo mix + 10 ISOs

44.1 kHz, 47.952 kHz, 48 kHz, 48.048 kHz, 96 kHz, 192 kHz sampling frequencies

16, 24, 32 float bit depths

Polyphonic WAV

Recording Storage

Type: SD, SDXC, SDHC Card, & USB thumbdrive (copy only)

Max Storage Size: 512 GB (SDXC)

Card format: exFAT

File Delivery to Cloud

Compatible with Viviana Cloud

Timecode

Modes: Free Run, Time of Day (file stamped w/current ToD), Rec Run, Ext LTC (file stamped w/incoming LTC on 3.5mm Aux In), Camera TC (file stamped w/incoming TC from cameras that output TC)

Frame Rates: auto-detects (fps): 23.98 (same as 23.976), 24, 25, 29.97DF, 29.97ND, 30, 30DF

Sync Source: Internal, Word Clock, Ext LTC

BNC In (TC In): switchable between Timecode (default) or Word Clock Input; 20k ohm impedance, 0.3 V - 3.0 V p-p (-17 dBu - +3 dBu); Word Clock: 10k ohm impedance, 1.5V p-p

BNC Out (TC Out): switchable between Timecode (default) or Word Clock Output; 1k ohm impedance, 3.0V p-p (+12 dBu); Word Clock: 75 ohm impedance, 5V p-p

TC Reader via HDMI

Power

AA Batteries: 8x AA sled (included); Energizer Ultimate Lithium recommended

L-Mount: Optional sled for 2x (hot-swappable) Li-ion batteries

AC Adapter: XL-WPH3 (included): Universal, 45 W in-line AC-to-DC power supply Hirose 4-pin DC plug, with detachable IEC power cord; 100-240, 50/60Hz

Remote Control

Bluetooth LE: Wireless control using Wingman app

HDMI (micro): Auto-record start/stop trigger from cameras with output record flag over HDMI

Timecode: Auto-record start/stop trigger via Aux In timecode

Environmental

Operating: -20°C to 60°C, 0 to 90% relative humidity; (non-condensing)

Storage: -40°C to 85°C

Dimensions and Weight

36 mm x 206 mm x 175 mm (H x W x D); 1.375" x 8.125" x 6.875"

Weight: 0.91 kg; 32.1 oz. (unpackaged, without batteries)

Touch Screen: 320x256; 1.6-inch, color, sunlight-viewable IPS LCD

*patents #US9654134B2 (USA), #CA2973142C (Canada), and #EP3259845 (Europe)

Warranty

Sound Devices, LLC warrants the items listed above against defects in materials and workmanship for a period of ONE (1) year from date of original retail purchase. Users who register their product directly with Sound Devices Technical Support using the online form or by phone, will receive an additional ONE (1) year of warranty coverage, extending the complete warranty period to TWO (2) years from the date of original retail purchase. In order to extend the warranty coverage period, registration must be completed within the initial ONE (1) year warranty period. Products must be purchased through authorized Sound Devices resellers to qualify for Warranty coverage. Damage resulting from the opening of a Sound Devices product or attempted repairs by a non-authorized Sound Devices repair technician will void warranty coverage.

This is a non-transferable warranty that extends only to the original purchaser. Sound Devices, LLC will repair or replace the product at its discretion at no charge. Warranty claims due to severe service conditions will be addressed on an individual basis.

THE WARRANTY AND REMEDIES SET FORTH ABOVE ARE EXCLUSIVE. SOUND DEVICES, LLC DISCLAIMS ALL OTHER WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. SOUND DEVICES, LLC IS NOT RESPONSIBLE FOR SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING FROM ANY BREACH OF WARRANTY OR UNDER ANY OTHER LEGAL THEORY. Because some jurisdictions do not permit the exclusion or limitations set forth above, they may not apply in all cases. For all service, including warranty repair, please contact Sound Devices for an RMA (return merchandise authorization) before sending your unit in for repair. Product returned without an RMA number may experience delays in repair. When sending a unit for repair, please do not include accessories, including SSD drives, CF cards, batteries, power supplies, carry cases, cables, or adapters unless instructed by Sound Devices. Sound Devices repairs and replacements may be completed using refurbished, returned or used parts that have been factory certified as functionally equivalent to new parts.

Sound Devices, LLC
Services Repair RMA #XXXXX
E7556 State Road 23 and 33
Reedsburg, WI 53959 USA
Telephone: +1-608-524-0625

Software License

End-user license agreement for Sound Devices MixPre Series Software / Embedded Firmware
Important Read carefully:

This Sound Devices, LLC end-user license agreement ("EULA") is a legal agreement between you (either an individual or a single entity) and Sound Devices, LLC for the Sound Devices, LLC software product identified above, which includes computer software, embedded firmware, and may include associated media, printed materials, and "online" or electronic documentation ("SOFTWARE PRODUCT"). By using, installing, or copying the SOFTWARE PRODUCT, you agree to be bound by the terms of this EULA. If you do not agree to the terms of this EULA, do not use or install the SOFTWARE PRODUCT.

Software Product License

The SOFTWARE PRODUCT is protected by copyright laws and international copyright treaties, as well as other intellectual property laws and treaties. The SOFTWARE PRODUCT is licensed, not sold.

Grant of license. This EULA grants you the following limited, non-exclusive rights: In consideration of payment of the licensee fee, Sound Devices, LLC, as licensor, grants to you, the licensee, a non-exclusive right to use this copy of a Sound Devices, LLC

software program (hereinafter the "SOFTWARE") on a single product and/or computer. All rights not expressly granted to licensee are reserved to Sound Devices, LLC.

Software ownership. As the licensee, you own the hardware on which the SOFTWARE is recorded or fixed. Sound Devices, LLC shall retain full and complete title to the SOFTWARE and all subsequent copies of the SOFTWARE, regardless of the media or form on or in which the original copies may exist. The license is not a sale of the original SOFTWARE.

Two Level Segregated Fit memory allocator, version 3.1. Written by Matthew Conte <http://tlsf.baisoku.org> Based on the original documentation by Miguel Masmano: <http://www.gii.upv.es/tlsf/main/docs> This implementation was written to the specification of the document, therefore no GPL restrictions apply.

Copyright (c) 2006-2016, Matthew Conte

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met: Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution. Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

** THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND
** ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED
** WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE
** DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL MATTHEW CONTE BE LIABLE FOR ANY
** DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
** (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
** LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND
** ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT
** (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS
** SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright

All rights, title, and copyrights in and to the SOFTWARE PRODUCT (including, but not limited to, any images, photographs, animations, video, audio, music, text, and "applets" incorporated into the SOFTWARE PRODUCT) and any copies of the SOFTWARE PRODUCT are owned by Sound Devices, LLC or its suppliers. The SOFTWARE PRODUCT is protected by copyright

laws and international treaty provisions. Therefore, you must treat the SOFTWARE PRODUCT like any other copyrighted material, except that you may make copies as only provided below. You may not copy the printed materials accompanying the SOFTWARE PRODUCT.

Restrictions on use. Licensee may not distribute copies of the SOFTWARE or accompanying materials to others. Licensee may not modify, adapt, translate, reverse engineer, decompile, disassemble, or create derivative works based on the SOFTWARE or its accompanying printed or written materials.

Transfer restrictions. Licensee shall not assign, rent, lease, sell, sublicense, or otherwise transfer the SOFTWARE to another party without prior written consent of Sound Devices, LLC. Any party authorized by Sound Devices, LLC to receive the SOFTWARE must agree to be bound by the terms and conditions of

this agreement.

Termination Without prejudice to any other rights, Sound Devices, LLC may terminate this EULA if you fail to comply with the terms and conditions of this EULA. In such event, you must destroy all copies of the SOFTWARE PRODUCT and all of its component parts.

Limited Warranty

No warranties. Sound Devices, LLC expressly disclaims any warranty for the SOFTWARE PRODUCT. The SOFTWARE PRODUCT and any related documentation is provided “as is” without warranty or condition of any kind, either express or implied, including, without limitation, the implied warranties and conditions of merchantability, fitness for a particular purpose, or non-infringement. The entire risk arising out of use or performance of the SOFTWARE PRODUCT remains with you.

No liability for damages. In no event shall Sound Devices, LLC or its suppliers be liable for any damages whatsoever (including, without limitation, damages for loss of business profits, business interruption, loss of business information, or any other pecuniary loss) arising out of the use of or inability to use this Sound Devices, LLC product, even if Sound Devices, LLC has been advised of the possibility of such damages. In any case, Sound Devices, LLC’s entire liability under any provision of this evaluation license shall be limited to the greater of the amount actually paid by you for the SOFTWARE PRODUCT or U.S. \$5.00. Because some states/jurisdictions do not allow the exclusion or limitation of liability for consequential or incidental damages, the above limitation may not apply to you.

Legal Notices

Product specifications and features are subject to change without prior notification. Governing Law This agreement and limited warranty are governed by the laws of the state of Wisconsin.

FCC & ISED Compliance Statements



This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. FCC Part 15.19 (a) (3) Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user’s authority to operate the equipment.

FCC Interference Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC & ISED User Statement

This device complies with FCC and ISED RF Exposure SAR limits exposure limits for general population / uncontrolled exposure. Cet appareil est conforme à la norme FCC et USED RF Exposure SAR limite les limites d'exposition pour la population générale / l'exposition incontrôlée.

This Device complies with Industry Canada License-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: 1) this device may not cause interference, and 2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device. Cet appareil est conforme avec Industrie Canada, exempts de licence standard RSS (s). Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes: 1) ce dispositif ne peut pas causer d'interférences, et 2) ce dispositif doit accepter toute interférence, y compris les interférences qui peuvent causer un mauvais fonctionnement de l'appareil.

Copyright© 2022 Sound Devices, LLC. All rights reserved.

This product is subject to the terms and conditions of a software license agreement provided with the product, and may be used in accordance with the license agreement. This document is protected under copyright law. An authorized licensee of this product may reproduce this publication for the licensee's own personal use. This document may not be reproduced or distributed, in whole or in part, for commercial purposes, such as selling copies or providing educational services or support. This document is supplied as a technical guide. Special care has been taken in preparing the information for publication; however, since product specifications are subject to change, this document might contain omissions and technical or typographical inaccuracies. Sound Devices, LLC does not accept responsibility for any losses due to the user of this guide. Trademarks

The "wave" logo is a registered trademark and Kashmir is a trademark of Sound Devices, LLC. iPad, iPhone, Mac and OS X are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation in the U.S. and other countries. Bluetooth Smart is a registered trademark of Bluetooth SIG, Inc. ASIO is a registered trademark of Steinberg Media Technologies. All other trademarks herein are the property of their respective owners.

WEEE Statement

If you wish to discard a Sound Devices product in Europe, contact Sound Devices (England) for further information.



Warning! This device can drive headphones to potentially dangerous levels. Do not listen at high volume levels for long periods.



Read and fully understand this manual before operation.

SOUND  DEVICES

Post Office Box 576
E7556 State Rd. 23 and 33
Reedsburg, Wisconsin 53959 USA

support@sounddevices.com

+1 608.524.0625 main
+1 608.524.0655 fax
800.505.0625 toll free

www.sounddevices.com